

統計からみた

# わかやまの畜産'25

令和7年

和歌山県農林水産部農業生産局畜産課

# 目 次

I 和歌山県の畜産の概要	
1. 畜産の現況	1
2. 農業産出額と畜産産出額	2
3. 市町村別家畜単位の分布	3
II 畜種別の動向	
1. 乳用牛	4
(1) 飼養戸数及び飼養頭数	
(2) 飼養頭数内訳	
(3) 成畜飼養頭数規模別農家数割合(R7)	
2. 肉用牛	6
(1) 飼養戸数及び飼養頭数	
(2) 飼養頭数内訳	
(3) 頭数規模別農家数割合(R7)	
(4) 和歌山県熊野牛子牛市場取引頭数及び平均価格	
3. 豚	8
(1) 飼養戸数及び飼養頭数	
(2) 飼養頭数内訳	
(3) 肥育豚飼養頭数規模別農家数割合(R6)	
4. 採卵鶏	10
(1) 飼養戸数及び飼養羽数	
(2) 成鶏めす飼養羽数規模別農家数割合(R6)	
(3) 鶏卵の生産量	
5. ブロイラー	12
(1) 飼養戸数及び飼養羽数	
(2) 出荷羽数規模別農家数割合(R6)	

6. みつばち	14
(1) 飼養戸数及び飼養ほう群数	
(2) 飼養ほう群規模別飼養者数割合(R7)	
(3) はちみつの生産量	
7. 特用家畜	16
(1) 特用家畜の飼養状況	
(2) イノブタ、地鶏、ホロホロ鳥の飼養戸数及び飼養頭羽数	
Ⅲ 畜産関係機関	
畜産関係機関所在地一覧	18
Ⅳ 参考資料	
1. 都道府県別畜産統計	19
(1) 乳用牛の飼養戸数・頭数	
(2) 肉用牛の飼養戸数・頭数	
(3) 豚の飼養戸数・頭数	
(4) 採卵鶏の飼養戸数・羽数(千羽)	
(5) ブロイラーの飼養戸数・羽数(千羽)	
(6) ミツバチの飼養戸数・ほう群数及びはちみつ生産量	
2. 家畜衛生	24
家畜伝染病(法定伝染病)発生状況	
3. 畜産物生産費(全国)	25
(1) 乳用牛生産費	
(2) 肉用牛生産費	
(3) 豚生産費	
4. 畜産環境	28
5. 和歌山県の畜産物紹介	29

# I 和歌山県の畜産の概要

## 1. 畜産の現況

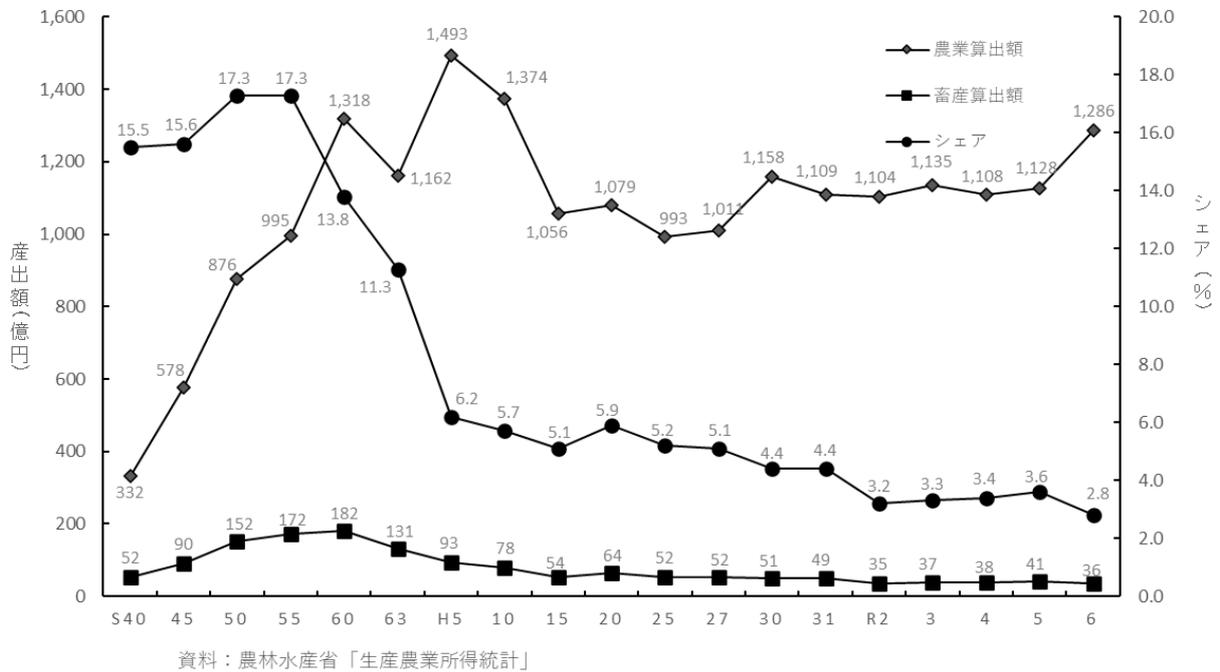
区分	単位	全国	近畿	和歌山県	全国順位	近畿地域内順位
飼養戸数						
乳用牛(R7)	戸	11,300	310	5	47	6
肉用牛(R7)	戸	34,000	1,210	42	42	4
豚(R6)	戸	3,130	45	5	45	5
採卵鶏(R6)	戸	1,700	137	18	30	4
ブロイラー(R6)	戸	2,050	62	16	28	2
みつばち(R7)	戸	12,150	1,233	311	18	2
飼養頭羽数・ほう群数						
乳用牛(R7)	頭	1,293,000	21,700	510	47	6
肉用牛(R7)	頭	2,595,000	91,700	2,680	44	5
豚(R6)	頭	8,798,000	40,500	1,140	47	6
採卵鶏(R6)	千羽	170,776	8,032	265	42	4
ブロイラー(R6)	千羽	144,859	3,249	231	36	3
みつばち(R7)	群	241,805	20,010	10,329	7	1
農業産出額(R6)	億円	108,200	5,660	1,286	31	2
畜産	億円	36,932	1,041	36	45	5
乳用牛	億円	9,767	232	6	47	6
肉用牛	億円	7,860	292	8	44	5
豚	億円	7,629	40	1	47	6
鶏	億円	10,655	463	16	43	3
その他	億円	1,021	11	4	13	1

資料：農林水産省「畜産統計調査」、「生産農業所得統計」、県畜産課調べ(みつばち)

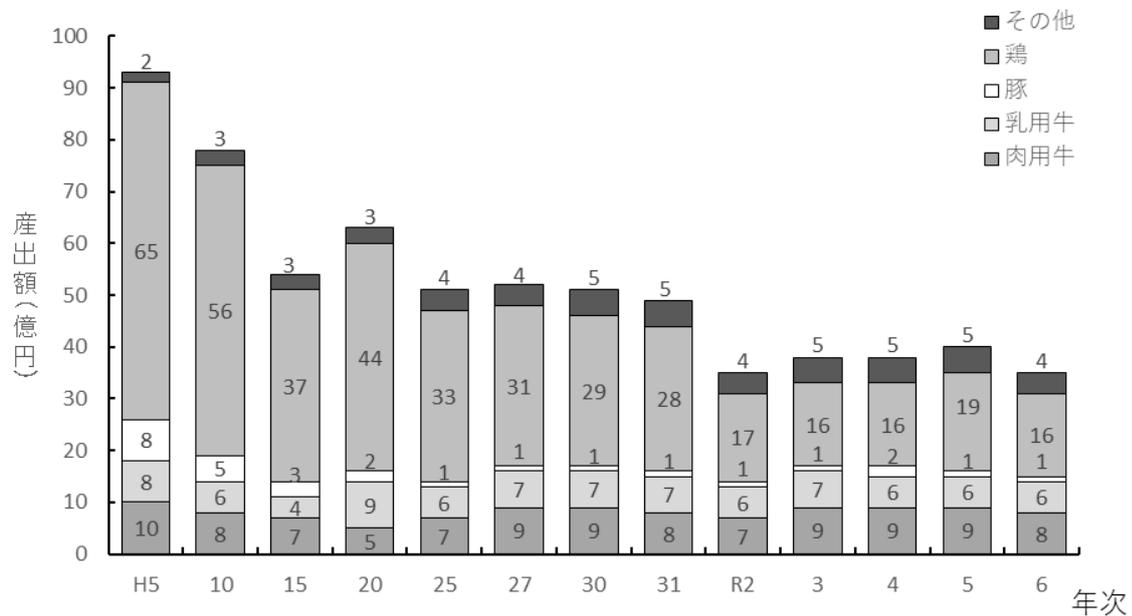
※令和7年は、農林業センサス実施年のため、豚・鶏は令和6年の数値

## 2. 農業産出額と畜産産出額

### 農業産出額と畜産産出額の推移

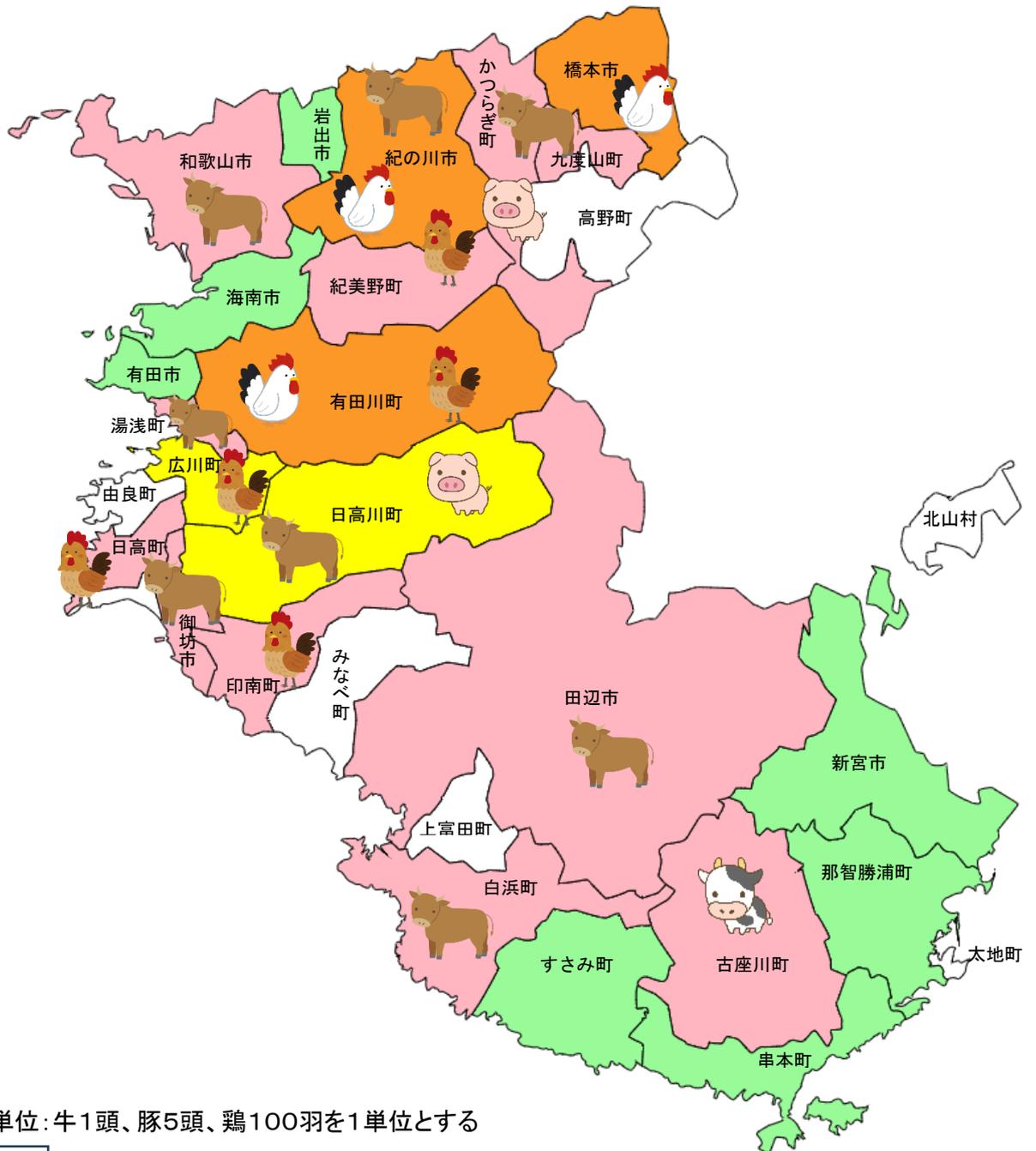


### 畜産産出額



本県における令和6年の畜産産出額は、36億円で農業算出額の2.8%を占めている。畜産産出額は前年比5億円減でそのうちの16億円(45.7%)は鶏で、次いで肉用牛8億円(22.9%)、乳用牛6億円(17.1%)、豚1億円(2.9%)その他畜産物4億円(11.4%)となっている。

### 3. 市町村別家畜単位の分布

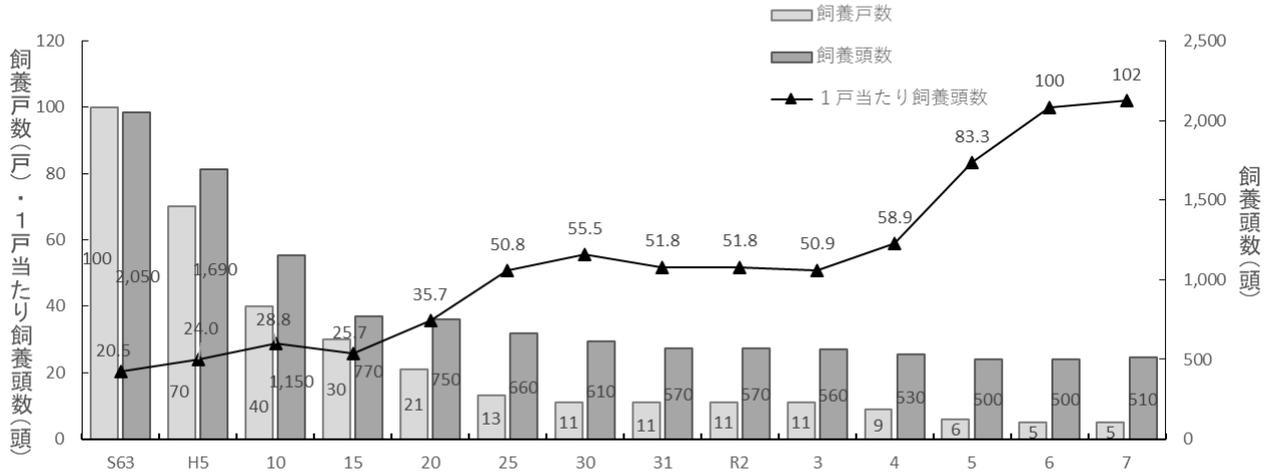


資料：県畜産課調べ(令和7年2月1日)

## II 畜種別の動向

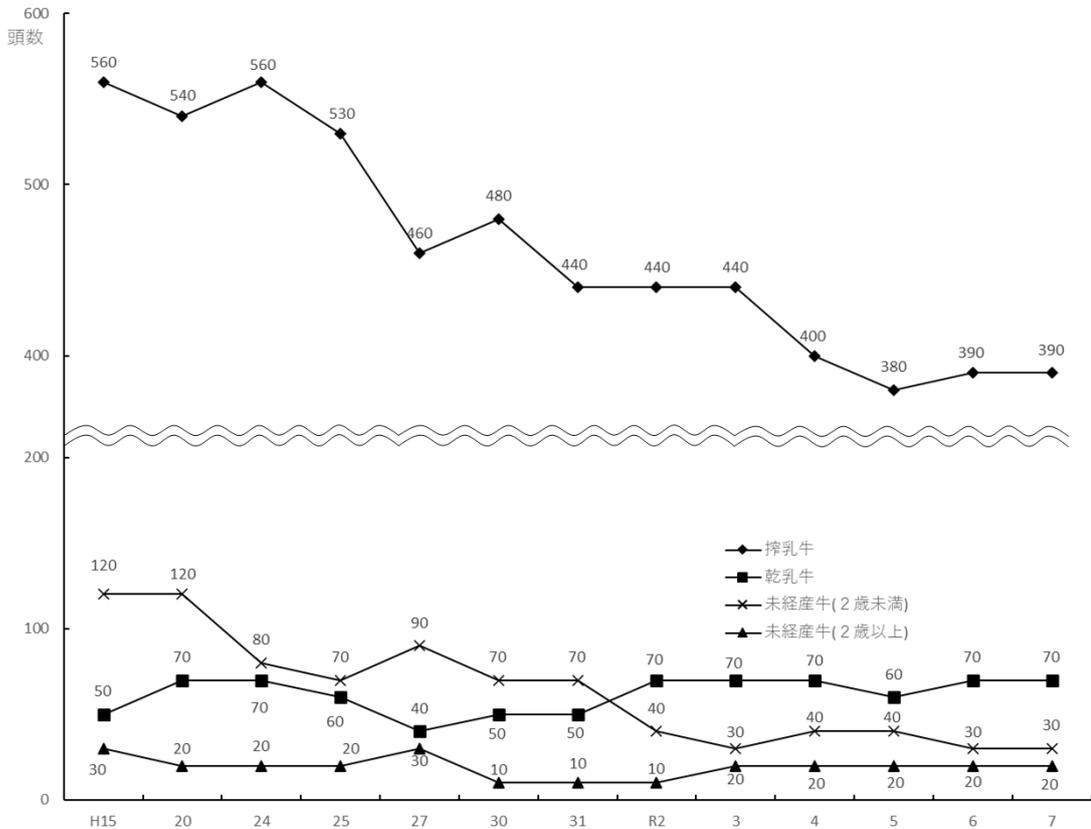
### 1. 乳用牛

#### (1) 飼養戸数及び飼養頭数



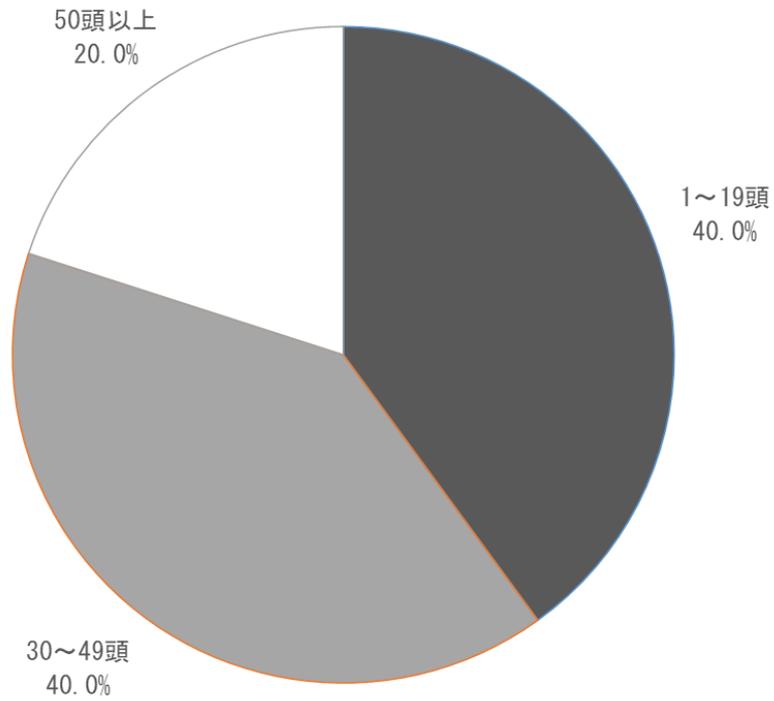
資料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）

#### (2) 飼養頭数内訳



- ・搾乳牛 経産牛のうち搾乳中の牛のこと
- ・乾乳牛 経産牛のうち搾乳していない牛のこと
- ・未搾乳牛 出生してから分娩するまでの牛で、生後24か月くらいまでが主体。

(3) 成畜飼養頭数規模別農家数割合 (R7)



資料：農林水産省「畜産統計調査」

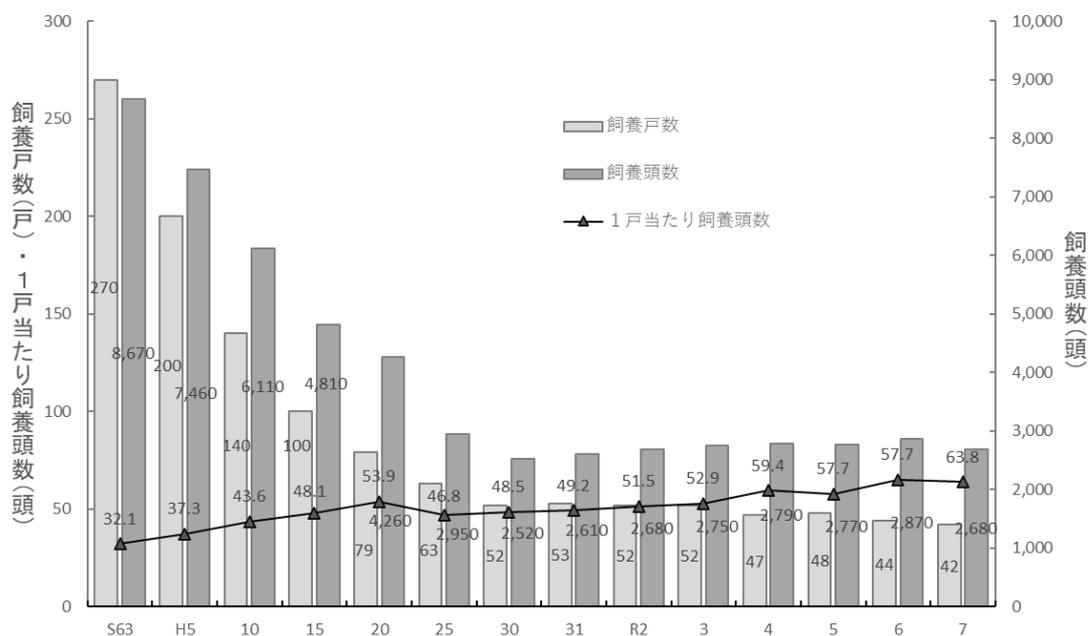
飼養戸数は5戸

飼養頭数は510頭、1戸当たりの飼養頭数は102(全国平均114.4)頭だった。

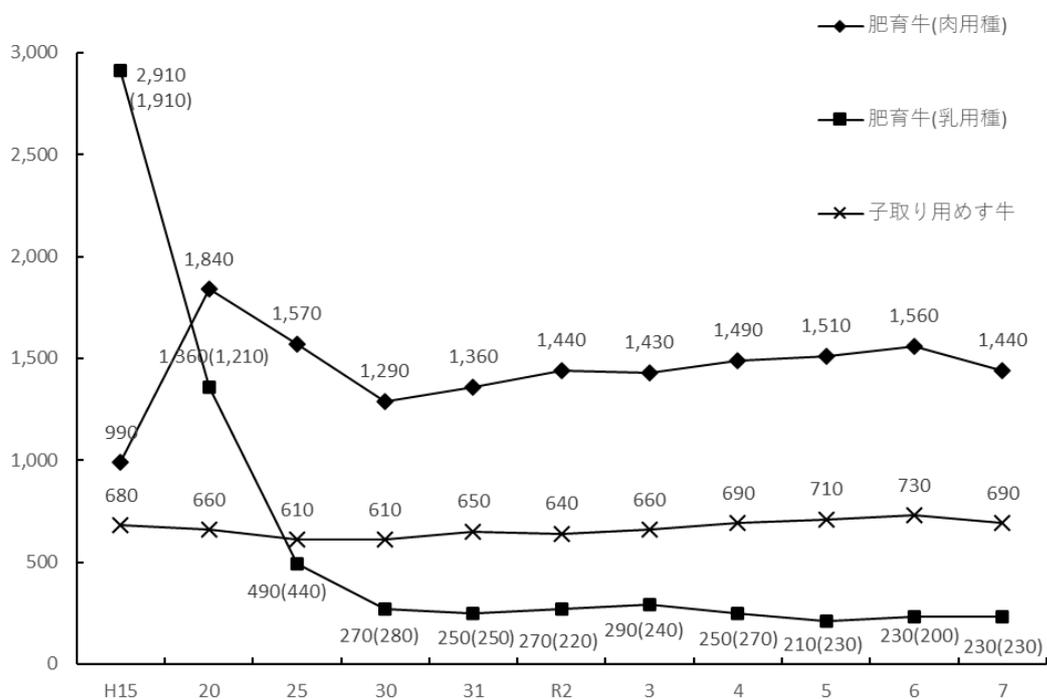


## 2. 肉用牛

### (1) 飼養戸数及び飼養頭数



### (2) 飼養頭数内訳



#### ・肥育牛

肉用牛として販売することを目的に飼養している牛のこと。

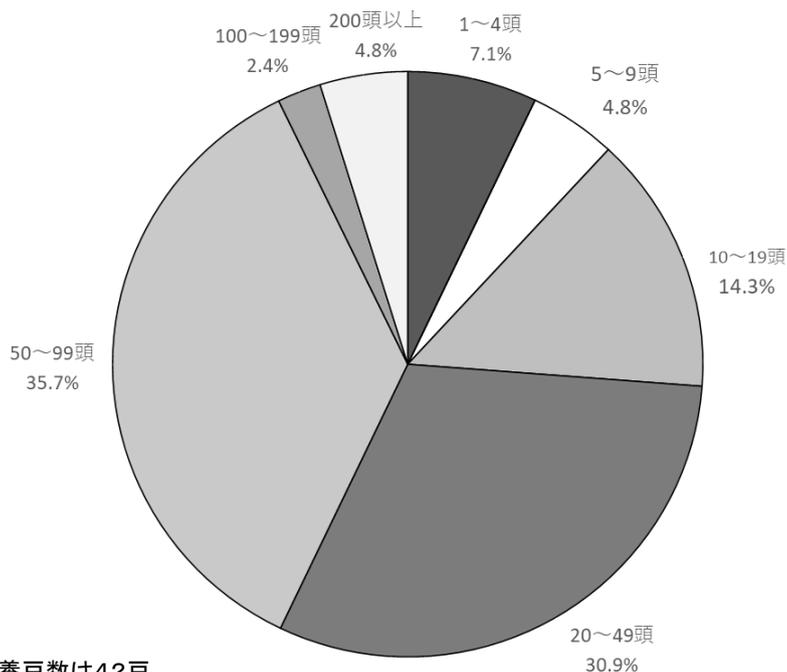
したがって、ほ乳・育成中の牛でも引き続き自家で肥育する予定のものは肥育牛とする。

#### ・子取り用めす牛

子牛を生産することを目的に飼養している肉用種のめす牛のこと。

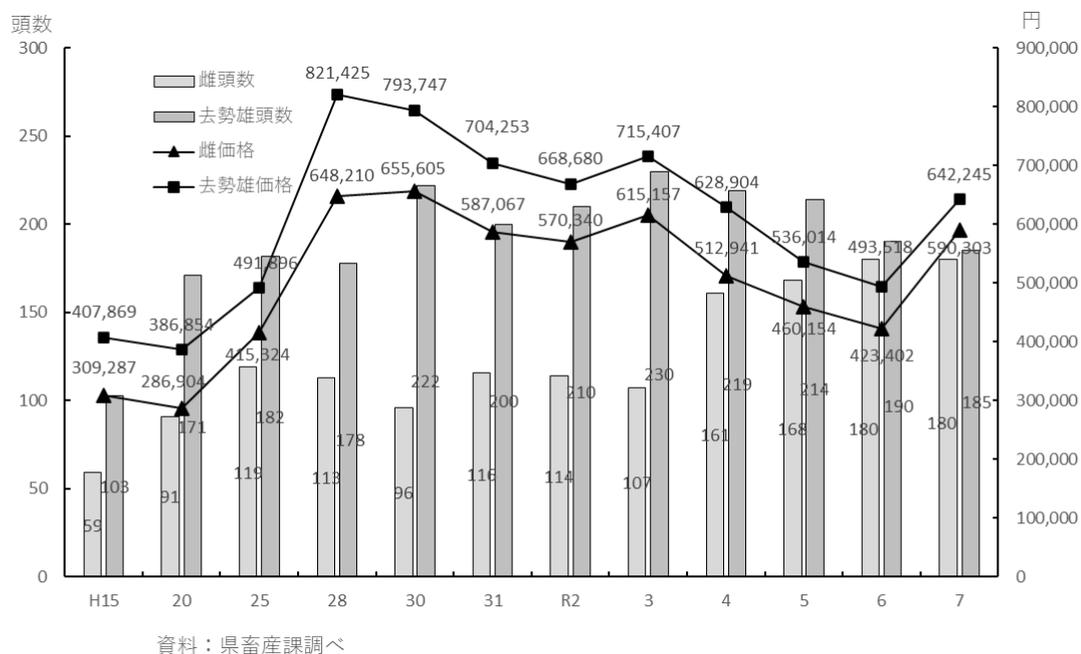
過去に種付けしたことのあるめす牛及び将来種付けすることが確定している牛である。

### (3) 頭数規模別農家数割合 (R7)



飼養戸数は42戸。  
 飼養頭数は2,680頭。  
 1戸当たりの飼養頭数は63.8(全国平均76.3)頭で、前年に比べ1.4頭減少した。  
 頭数規模別農家数割合では50頭未満の農家数が6割近く占めている。

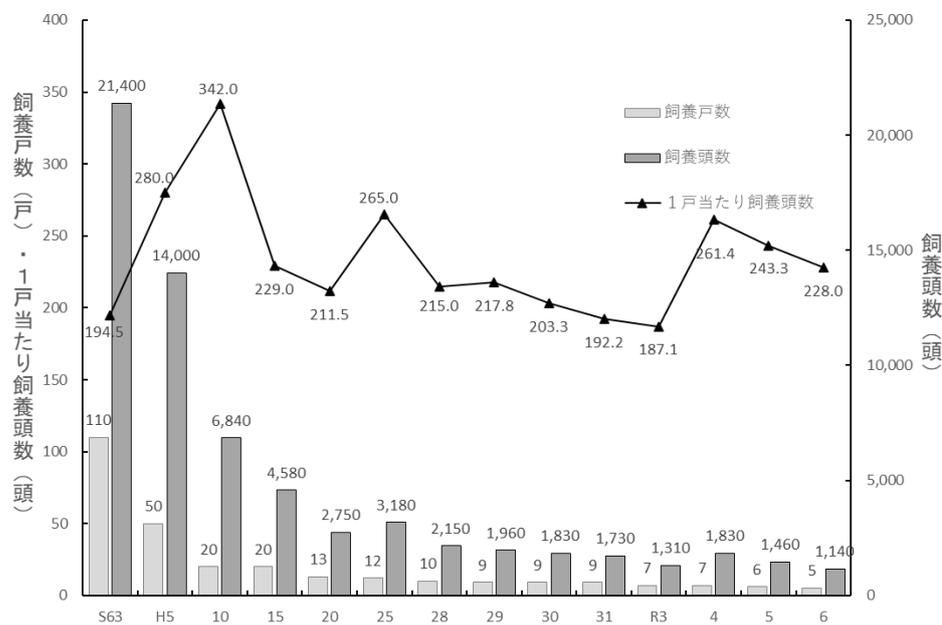
### (4) 和歌山県熊野牛子牛市場取引頭数及び平均価格



令和7年度の取引頭数は、365頭で前年度より5頭減少した。  
 一方、雌の取引価格は590,303円、去勢の取引価格は642,245円で、前年度より大幅に増加した。

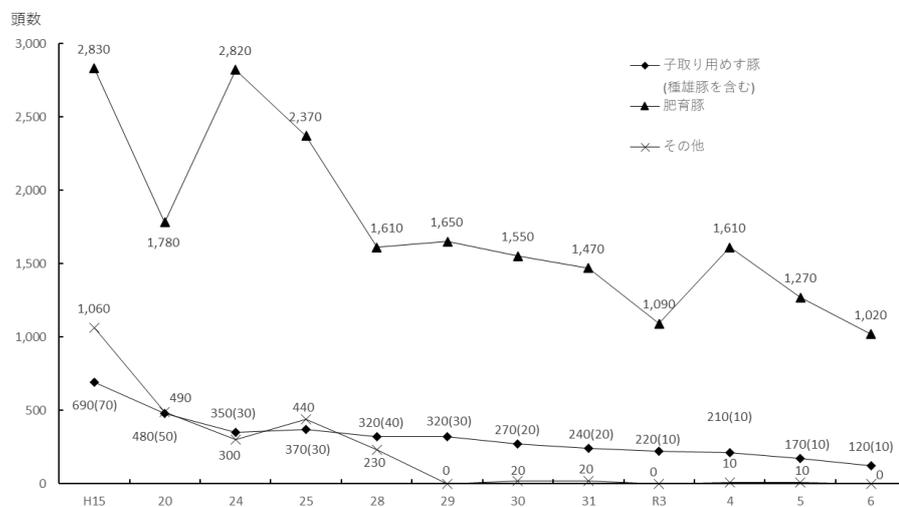
### 3. 豚

#### (1) 飼養戸数及び飼養頭数



資料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）  
 ※平成27年・令和2年・令和7年は、農林業センサス実施年のため数値なし。

#### (2) 飼養頭数内訳



資料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）  
 ※子取り用めす豚には、種雄豚を含む（）内は種雄豚の頭数である。  
 ※平成27年・令和2年・令和7年は、農林業センサス実施年のため数値なし。

#### ・子取り用めす豚

生後6か月以上で子豚を生産することを目的に飼養しているめす豚のこと。過去に種付けしたことのある豚及び近い将来種付けすることが確定している豚である。

#### ・種雄豚

生後6か月以上で種付けに供することを目的に飼養している雄豚のこと。過去に種付けに供したことのある豚及び近い将来種付けに供することが確定している豚である。

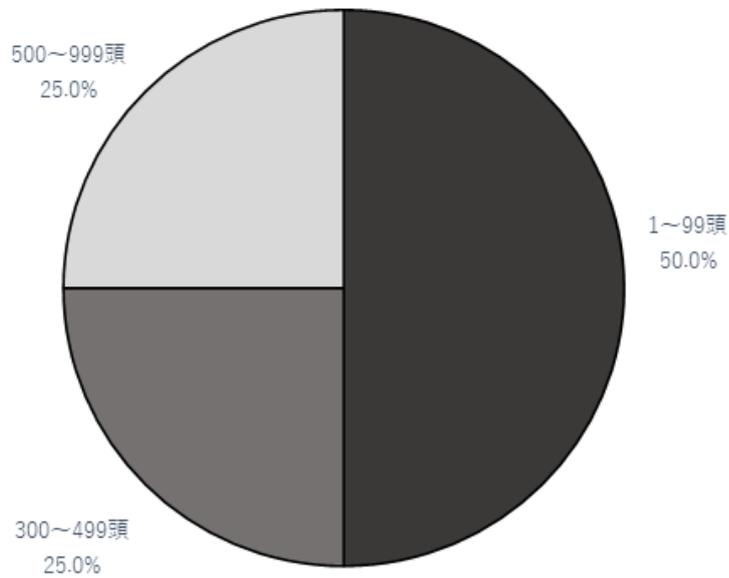
#### ・肥育豚

自家で飼養して肉豚として販売することを目的に飼養している豚のこと。  
 肥育用のもと豚として販売するものは含めない。

#### ・その他

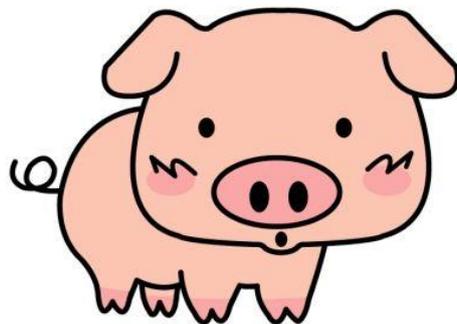
上記以外の豚をいう。また、肥育用のもと豚として販売するものはここに含める。

(3) 肥育豚飼養頭数規模別農家数割合<R6>



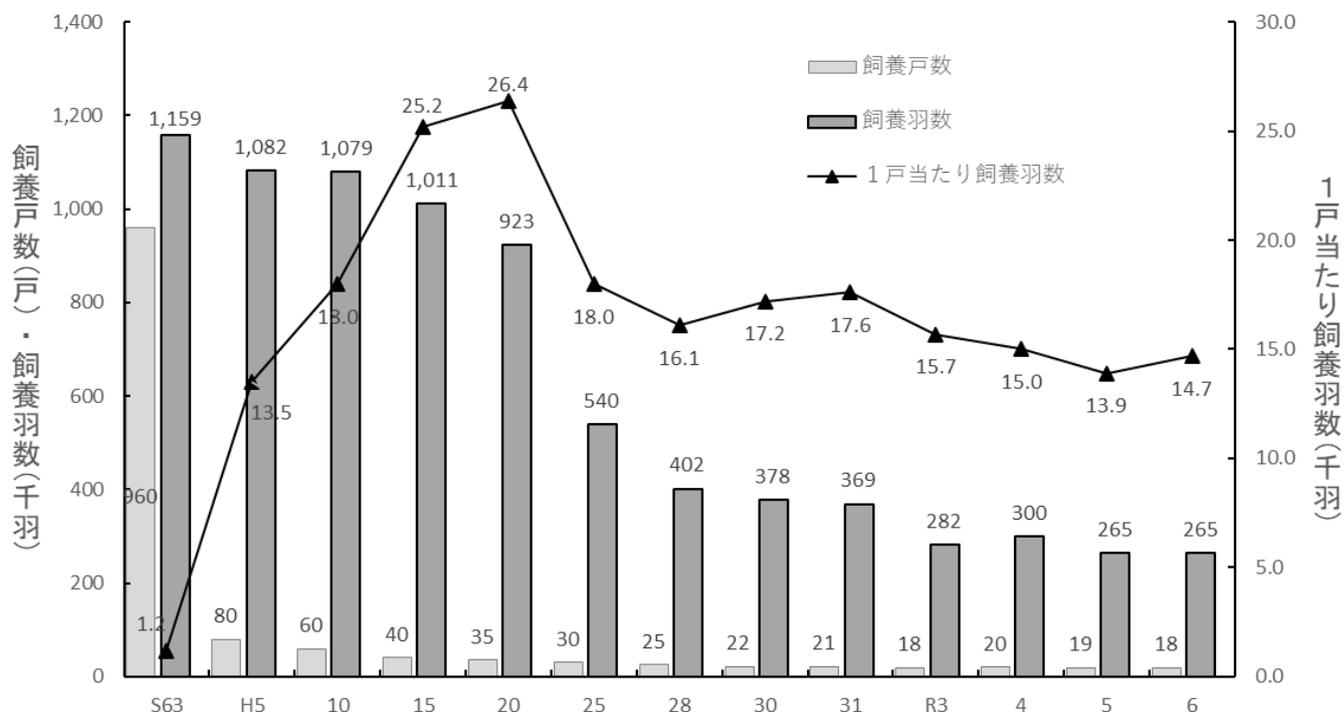
資料：農林水産省「畜産統計調査」

飼養戸数は5戸。  
飼養頭数は1,140頭。  
1戸当たりの飼養頭数は228.0(全国平均2,810)頭だった。



## 4. 採卵鶏

### (1) 飼養戸数及び飼養羽数



資料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）

※飼養戸数について、平成10年より1,000羽未満の飼養者を除く。

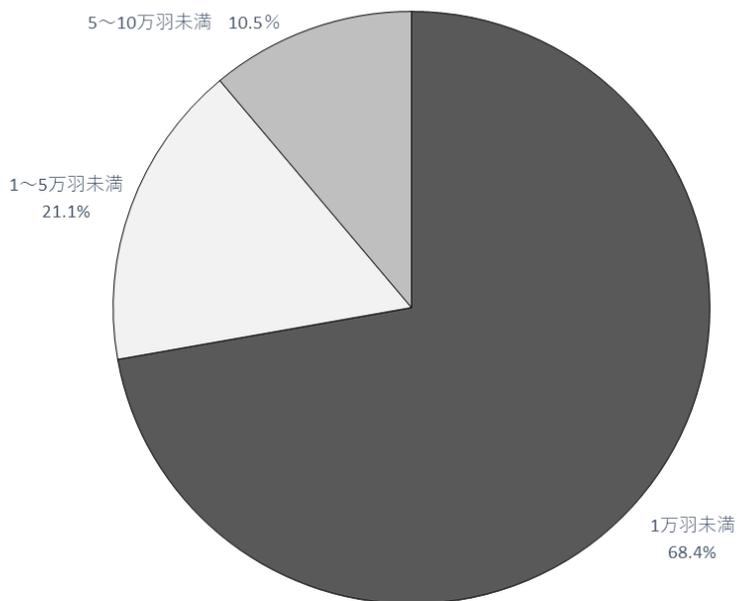
平成14年より種鶏農家を除く。

※平成27年・令和2年・令和7年は農林業センサス実施年のため数値なし。

・採卵鶏 鶏卵を生産することを目的として飼養している鶏のこと。



## (2) 成鶏めす飼養羽数規模別農家数割合(R6)



資料：農林水産省「畜産統計調査」  
・成鶏めす 生後6か月齢以上のめすの鶏のこと。

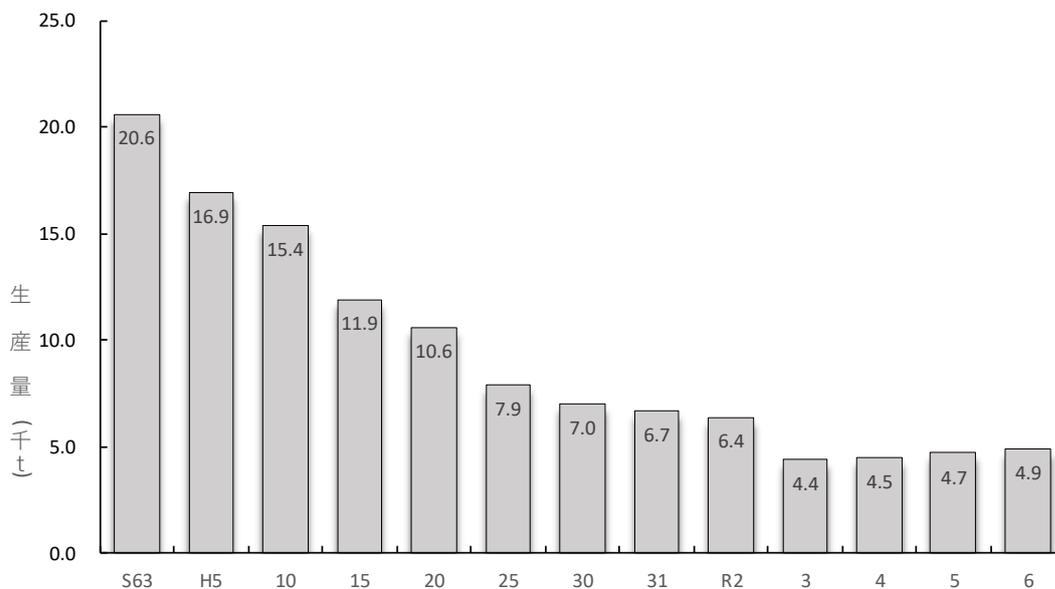
飼養戸数は18戸。

飼養羽数は265千羽。

1戸当たりの飼養羽数14.4千羽(全国平均79.1千羽)だった。

成鶏めす飼養羽数規模別農家数割合では、1万羽未満の農家数が全体の約7割を占めている。

## (3) 鶏卵の生産数

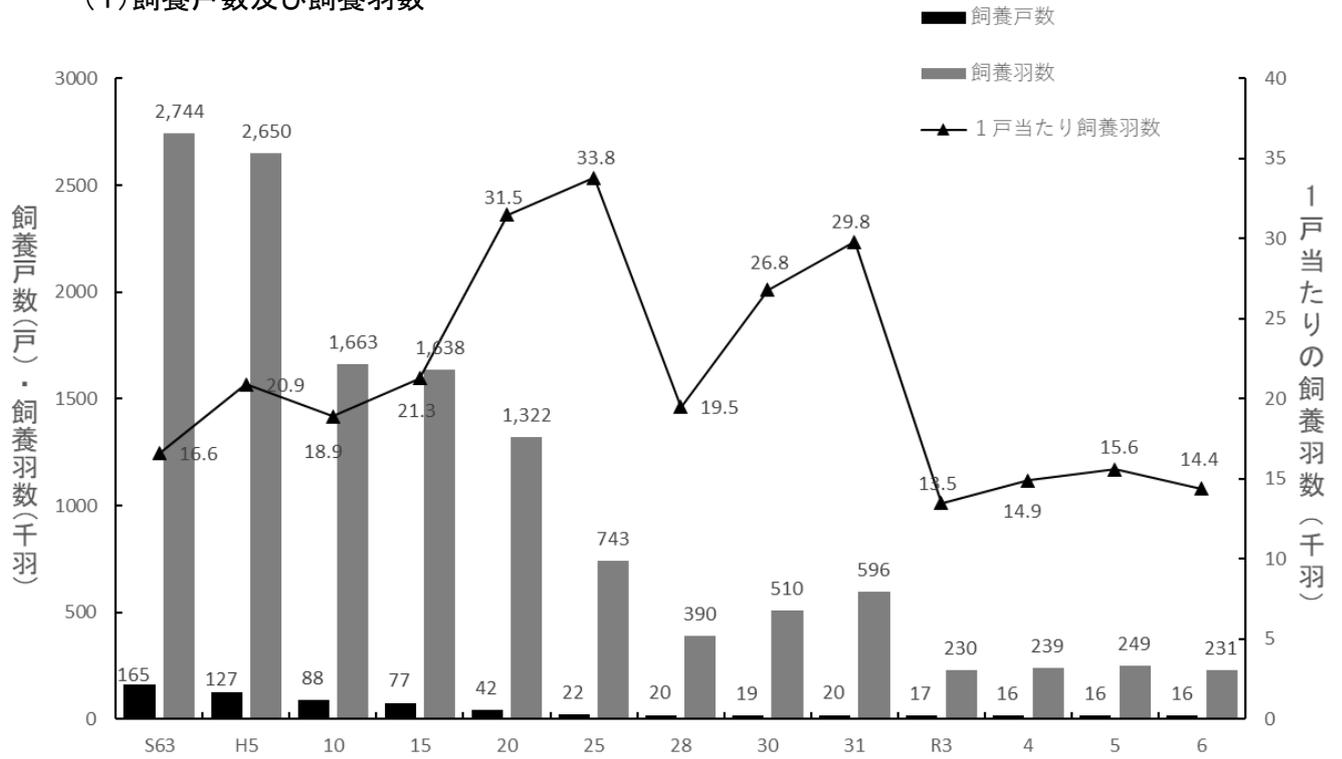


資料：農林水産省「畜産物流通統計」

令和6年における県内の鶏卵の生産量は4,928トンだった。

## 5. ブロイラー

### (1) 飼養戸数及び飼養羽数

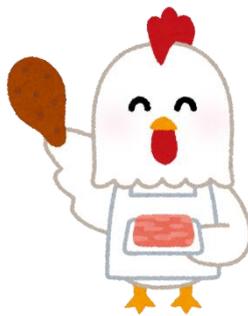


資料：農林水産省「畜産統計調査」〈各年2月1日現在〉

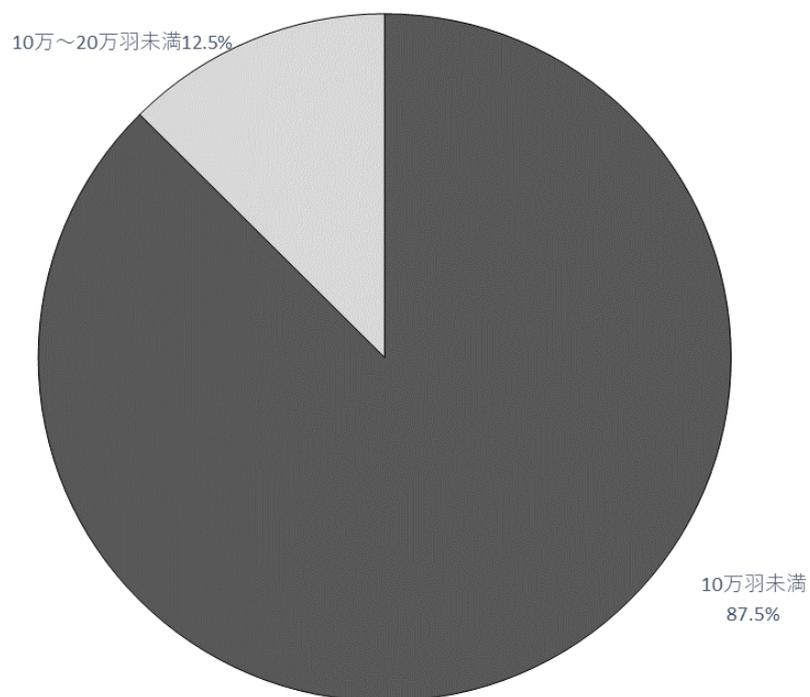
※平成22年以降は国が調査を中止したため、24年までは県畜産課調べの数値。25年より調査を再開。

※平成27年・令和2年・令和7年は農林業センサス実施年のため数値なし。

ブロイラー：食用に供される肉用若鶏のこと。



## (2)出荷羽数規模別農家数割合(R6)



資料：農林水産省「畜産統計調査」

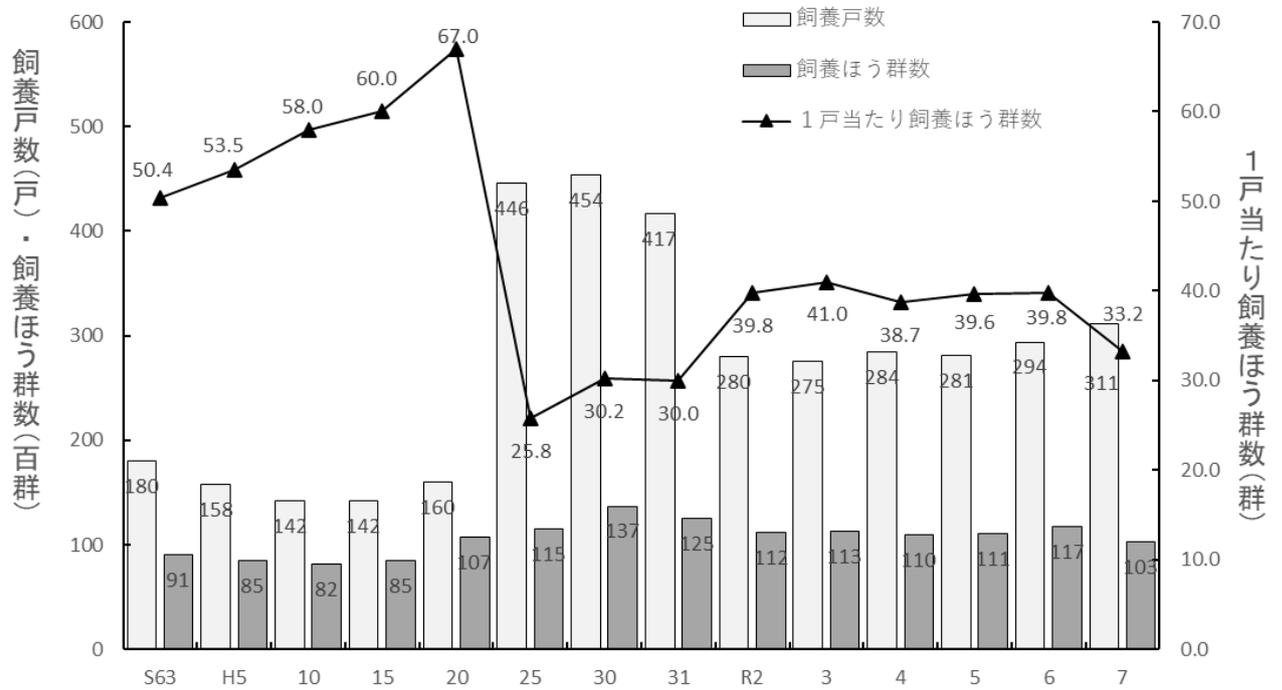
飼養戸数は16戸。

飼養羽数は231千羽。

1戸当たりの飼養羽数14.4千羽(全国平均70.7千羽)だった。

## 6. みつばち

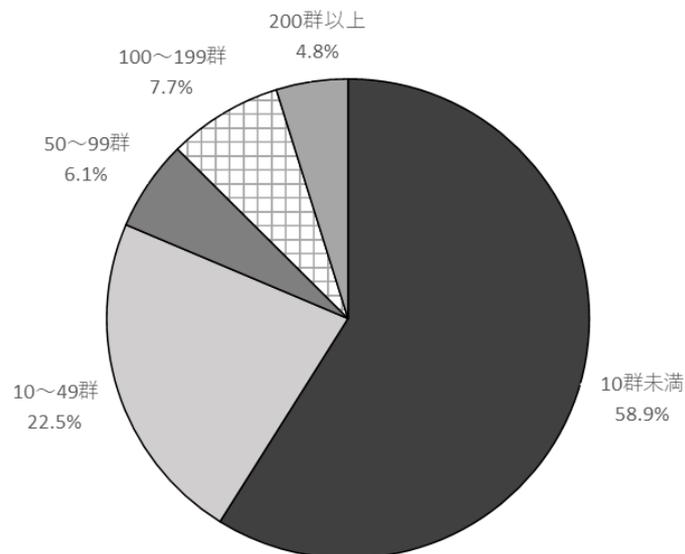
### (1) 飼養戸数及び飼養ほう群数



資料：県畜産課調べ(各年1月1日現在)

※養ほう業者以外の飼養者を含む。

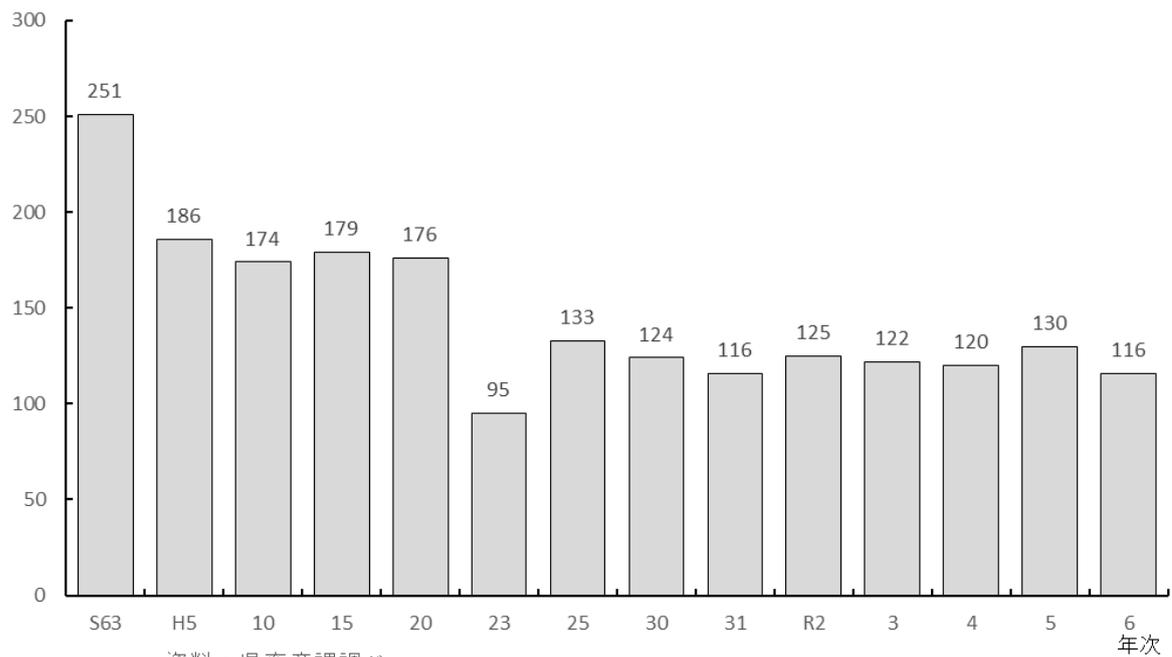
### (2) 飼養ほう群規模別飼養者数割合 (R7)



資料：県畜産課調べ

### (3) はちみつの生産量

(t)



資料：県畜産課調べ

令和7年1月1日現在における飼養戸数は311戸、飼養ほう群数は10,329群で、戸数全国18位、ほう群数全国7位、令和6年次のはちみつ生産量全国6位である。

1飼養者当たりの飼養ほう群数は33.2群で、規模別にみると50群未満の飼養者が81.4%を占めている。



## 7. 特用家畜

### (1) 特用家畜の飼養状況

(令和7年2月1日現在)

畜種	飼養戸数 (戸)	飼養頭羽数 (頭・羽)	備考
地鶏	8	4,300	
ホロホロ鳥	X	300	
アイガモ アヒル	9	8,377	
イノブタ	X	49	F <sub>1</sub> (イノシシ×ブタ)
イノシシ	12	51	イノブタの繁殖雄(猪)を含む
めん羊	6	19	
山羊	76	198	
馬	20	106	
鹿	X	97	
ダチョウ	X	4	
実験動物等	26	135,619	モルモット、マウス、ウサギ、ミニブタ等

※「X」は秘密保護上数値を公表しないもの。

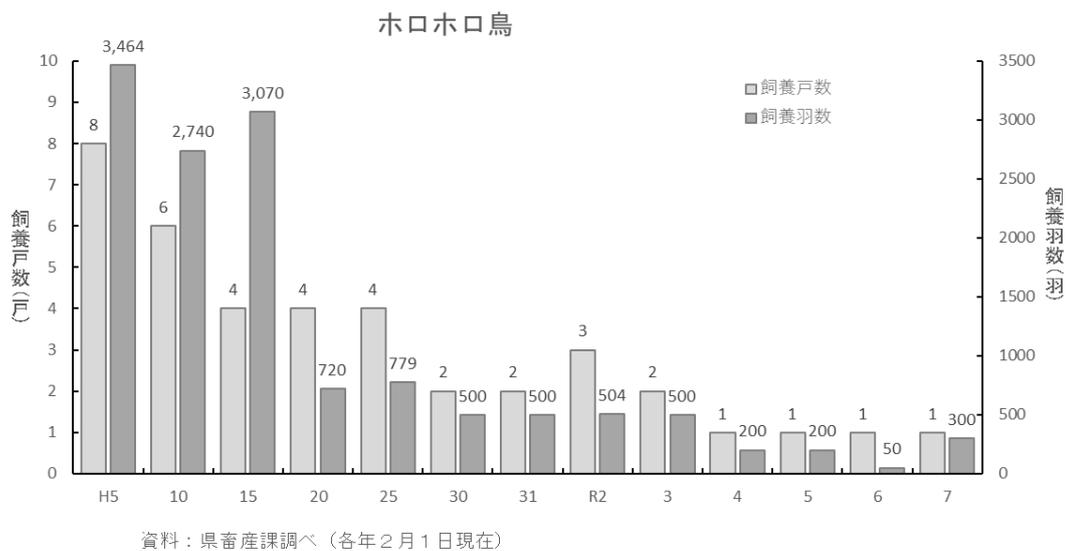
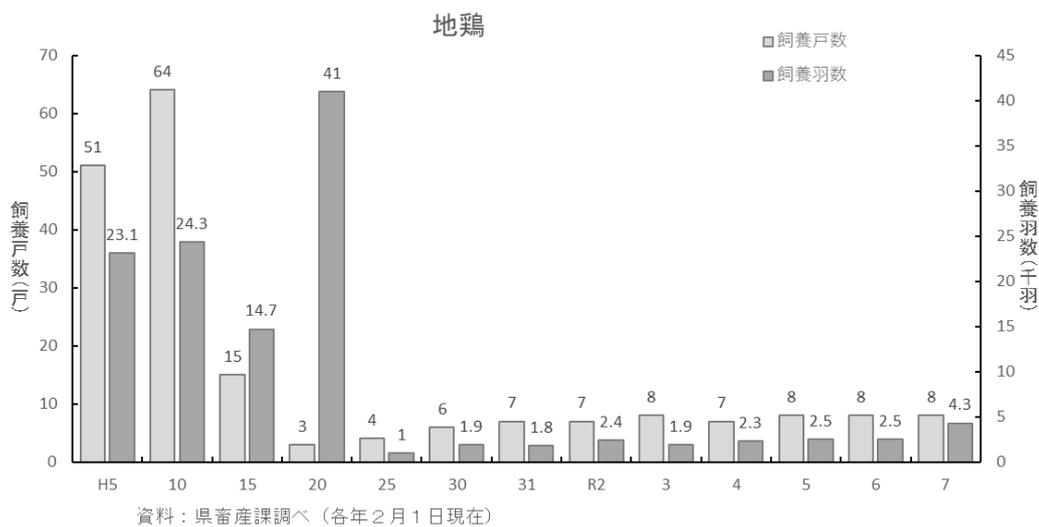
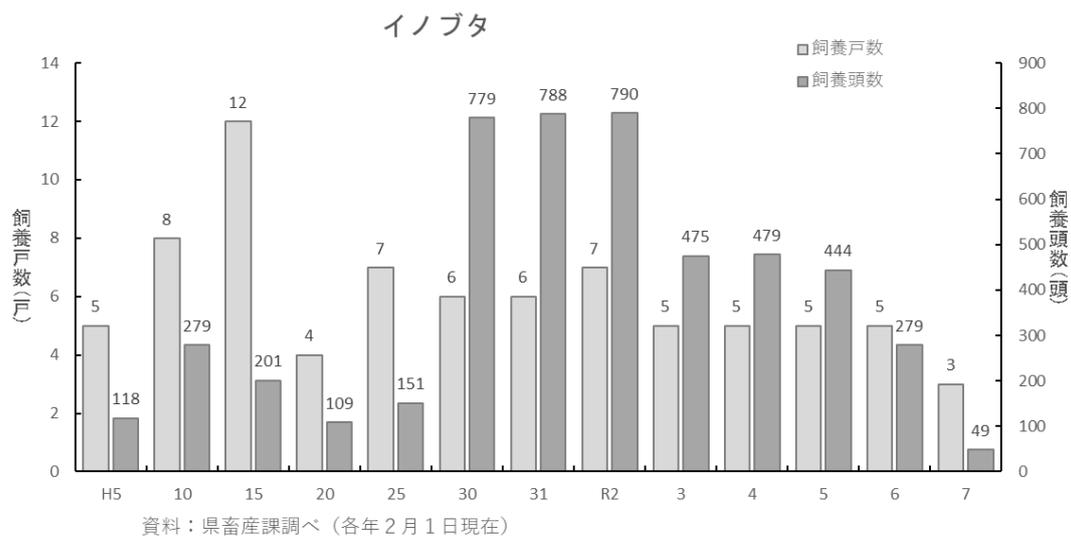
資料: 県畜産課調べ

#### ・特用家畜(地域特別用途家畜の略)

犬、猫等のコンパニオン動物と、牛、豚、鶏の産業動物を除いたほとんどの家畜である。

その主なものは哺乳類では、馬、めん羊、ウサギ、ミンク、シカ等を含み、鳥類では、高品質鶏、アヒル、七面鳥、キジ等を含む。本県では主な特用家畜として、ホロホロ鳥、イノブタを位置づけ、推進している。

## (2) イノブタ、地鶏、ホロホロ鳥の飼養戸数及び飼養頭羽数



### Ⅲ 畜産関係機関

#### 畜産関係機関所在地一覧

名 称	住 所	電話番号
農林水産部 農業生産局畜産課	〒640-8585和歌山市小松原通1-1	073-441-2920
畜産試験場	〒649-3141西牟婁郡すさみ町見老津1	0739-55-2430
畜産試験場養鶏研究所	〒644-1111日高郡日高川町船津1090-1	0738-54-0144
紀北家畜保健衛生所	〒640-8483和歌山市園部1291	073-462-0500
紀南家畜保健衛生所	〒649-2103西牟婁郡上富田町生馬321-10	0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所	〒649-5142東牟婁郡那智勝浦町下里490	0735-58-1481
海草振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒640-8585和歌山市小松原通1-1	073-441-3382
那賀振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒649-6223岩出市高塚209	0736-61-0025
伊都振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒648-8541橋本市脇4-5-8	0736-33-4930
有田振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒643-0004有田郡湯浅町湯浅2355-1	0737-64-1273
日高振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒644-0011御坊市湯川町財部651	0738-24-2926
西牟婁振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒646-8580田辺市朝日ヶ丘23-1	0739-22-1443
東牟婁振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒647-8551新宮市緑ヶ丘2-4-8	0735-29-2011

#### IV 参考資料

##### 1. 都道府県別畜産統計

(1) 乳用牛の飼養戸数・頭数(令和7年2月1日)

単位(戸数:戸、頭数:頭、比率:%)

都道府県	飼養戸数	飼養頭数(めす)									1戸当たり 飼養頭数	対前年比	
		合計	成畜(2歳以上)						2歳未満 (未経産牛)	未経産牛計		飼養戸数	飼養頭数
			計	経産牛			未経産牛						
				小計	搾乳牛	乾乳牛							
1 北海道	4,970	816,800	505,200	470,500	397,500	72,900	34,700	311,600	346,300	164.3	96.1	99.4	
2 青森	126	11,500	8,650	8,020	6,770	1,240	640	2,840	3,480	91.3	92.6	103.6	
3 岩手	650	37,600	25,700	23,300	19,900	3,300	2,480	11,800	14,300	57.8	93.9	97.2	
4 宮城	349	14,900	11,800	10,800	9,250	1,520	1,000	3,100	4,100	42.7	94.8	94.3	
5 秋田	64	3,330	2,640	2,460	2,130	330	180	690	870	52.0	91.4	94.3	
6 山形	166	9,950	8,310	7,800	6,660	1,140	510	1,640	2,150	59.9	96.5	103.0	
7 福島	193	10,400	7,710	7,230	6,130	1,100	470	2,650	3,120	53.9	92.3	99.0	
8 茨城	236	22,900	19,600	18,300	15,500	2,880	1,240	3,370	4,610	97.0	94.4	98.7	
9 栃木	531	51,400	42,100	39,200	33,800	5,410	2,930	9,310	12,200	96.8	96.0	97.3	
10 群馬	342	31,000	23,700	22,100	18,800	3,270	1,600	7,320	8,920	90.6	96.3	97.2	
11 埼玉	120	5,810	4,400	4,040	3,470	570	360	1,410	1,770	48.4	91.6	91.4	
12 千葉	342	25,200	20,600	19,400	16,300	3,020	1,180	4,600	5,790	73.7	94.2	98.1	
13 東京	40	1,330	1,040	960	820	140	80	290	380	33.3	95.2	95.7	
14 神奈川	106	3,790	3,110	2,850	2,380	470	260	680	940	35.8	90.6	94.3	
15 新潟	122	4,650	3,810	3,550	3,070	480	260	850	1,110	38.1	91.7	92.1	
16 富山	31	2,120	1,720	1,610	1,380	240	100	410	510	68.4	100.0	97.7	
17 石川	32	2,640	1,990	1,930	1,640	290	60	650	710	82.5	91.4	90.1	
18 福井	19	940	680	640	540	100	40	260	300	49.5	100.0	98.9	
19 山梨	40	2,990	2,280	2,100	1,750	350	180	700	890	74.8	97.6	97.4	
20 長野	203	12,700	9,960	9,250	7,820	1,420	710	2,780	3,490	62.6	91.4	97.7	
21 岐阜	78	4,860	3,540	3,300	2,870	430	240	1,320	1,560	62.3	95.1	96.0	
22 静岡	146	12,400	10,400	9,710	8,390	1,320	720	1,990	2,710	84.9	94.8	95.4	
23 愛知	186	17,800	14,700	14,000	12,100	1,890	730	3,060	3,790	95.7	93.5	96.2	
24 三重	26	7,040	5,890	5,670	4,930	740	230	1,140	1,370	270.8	96.3	102.6	
25 滋賀	29	2,310	1,810	1,700	1,480	210	110	500	610	79.7	90.6	97.5	
26 京都	42	3,630	3,030	2,840	2,480	370	190	610	790	86.4	93.3	96.8	
27 大阪	21	1,080	920	880	740	140	40	150	200	51.4	91.3	100.9	
28 兵庫	184	11,600	9,350	8,660	7,500	1,160	690	2,260	2,950	63.0	92.0	94.3	
29 奈良	29	2,590	2,340	2,210	1,820	390	130	250	380	89.3	90.6	93.2	
30 和歌山	5	510	470	460	390	70	20	30	50	102.0	100.0	102.0	
31 鳥取	94	8,520	6,660	6,400	5,520	880	270	1,850	2,120	90.6	97.9	101.8	
32 島根	69	10,500	8,460	7,950	6,770	1,180	520	2,030	2,540	152.2	95.8	99.1	
33 岡山	170	15,100	12,100	11,500	9,850	1,630	640	2,940	3,580	88.8	93.9	98.1	
34 広島	103	7,810	5,950	5,420	4,660	770	530	1,850	2,380	75.8	93.6	86.9	
35 山口	47	2,350	1,930	1,830	1,570	260	100	420	520	50.0	95.9	97.9	
36 徳島	66	3,030	2,600	2,450	2,130	320	150	430	580	45.9	97.1	88.6	
37 香川	50	4,980	4,150	3,970	3,390	580	180	830	1,000	99.6	90.9	98.2	
38 愛媛	70	4,280	3,310	3,050	2,630	420	260	980	1,230	61.1	89.7	95.1	
39 高知	41	3,050	2,510	2,370	2,050	320	140	540	690	74.4	100.0	103.0	
40 福岡	144	9,530	7,310	6,780	5,820	960	530	2,220	2,750	66.2	93.5	94.4	
41 佐賀	28	1,740	1,500	1,440	1,250	190	60	240	300	62.1	87.5	95.1	
42 長崎	104	5,360	4,750	4,440	3,820	620	310	610	920	51.5	94.5	95.4	
43 熊本	438	41,900	32,400	29,700	25,500	4,220	2,700	9,470	12,200	95.7	95.8	97.4	
44 大分	94	11,900	8,800	7,770	6,550	1,220	1,030	3,110	4,140	126.6	100.0	96.7	
45 宮崎	187	12,400	9,760	8,960	7,630	1,330	810	2,680	3,490	66.3	93.5	95.4	
46 鹿児島	124	11,300	8,840	8,170	6,950	1,220	680	2,490	3,170	91.1	94.7	94.2	
47 沖縄	65	3,570	2,920	2,660	2,250	410	260	650	910	54.9	100.0	97.0	
全国	11,300	1,293,000	881,400	820,100	696,700	123,400	61,200	411,600	472,800	114.4	95.0	98.5	

資料:農林水産省「畜産統計調査」

\*成畜(2歳以上)には、2歳未満の経産牛(分べん経験のある牛)を含む。

\*統計表の記号「-」は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

## (2) 肉用牛の飼養戸数・頭数(令和7年2月1日)

単位(戸数:戸、頭数:頭、比率:%)

都道府県	飼養戸数	乳用種 のいる戸数	合計	飼 養 頭 数									1戸当たり 飼養頭数	対前年比			
				肉			用			種				ホルスタイン種 他	交雑種	飼養戸数	飼養頭数
				計	子取り用めす牛	肥育用牛	育成牛	黒毛和種	褐毛和種	その他							
1 北海道	2,030	800	544,700	211,200	68,800	69,500	72,900	205,200	2,430	3,610	140,100	193,400	268.3	95.8	97.5		
2 青森	651	123	51,700	31,400	12,700	13,200	5,570	30,900	0	500	6,760	13,500	79.4	94.6	93.2		
3 岩手	2,910	153	81,800	67,000	27,000	20,900	19,100	64,400	150	2,420	1,630	13,100	28.1	91.8	93.1		
4 宮城	2,180	121	76,100	66,600	23,800	27,400	15,400	66,300	240	60	970	8,510	34.9	92.0	95.7		
5 秋田	529	47	17,600	16,300	5,860	6,430	3,990	15,700	30	510	110	1,260	33.3	89.7	93.6		
6 山形	501	38	43,300	41,700	8,040	30,900	2,740	41,600	0	80	70	1,610	86.4	94.7	100.2		
7 福島	1,330	95	47,900	41,300	12,800	19,700	8,860	41,000	10	240	360	6,260	36.0	90.5	94.9		
8 茨城	384	89	51,000	32,600	4,180	25,500	2,930	32,500	50	50	4,780	13,600	132.8	95.0	97.5		
9 栃木	715	163	83,500	46,400	12,900	22,100	11,500	46,400	10	50	5,530	31,600	116.8	95.6	96.3		
10 群馬	433	191	55,100	33,000	7,400	20,900	4,710	33,000	-	10	800	21,300	127.3	93.5	97.7		
11 埼玉	105	51	17,300	12,000	2,200	8,740	1,100	12,000	-	30	1,990	3,300	164.8	90.5	99.4		
12 千葉	210	114	40,600	11,800	2,200	7,140	2,470	11,800	0	20	3,270	25,600	193.3	94.6	97.4		
13 東京	19	2	580	510	150	290	70	510	-	-	20	50	30.5	100.0	78.4		
14 神奈川	46	25	4,710	2,180	340	1,630	220	2,170	10	10	40	2,490	102.4	90.2	91.8		
15 新潟	164	41	11,500	6,120	1,500	3,800	830	6,110	-	10	500	4,900	70.1	93.2	95.8		
16 富山	32	16	3,820	2,430	730	1,340	360	2,430	-	10	80	1,300	119.4	100.0	99.0		
17 石川	57	23	3,360	3,100	480	2,030	590	3,070	20	10	20	240	58.9	91.9	92.6		
18 福井	36	13	1,830	1,340	190	960	190	1,340	10	0	10	480	50.8	90.0	93.4		
19 山梨	56	23	5,150	2,500	780	1,390	340	2,500	-	0	140	2,510	92.0	96.6	98.8		
20 長野	292	72	21,000	15,800	3,160	11,000	1,660	15,800	0	90	400	4,720	71.9	94.8	100.0		
21 岐阜	398	45	33,000	31,100	8,090	18,000	5,000	31,100	0	-	40	1,830	82.9	96.4	97.1		
22 静岡	96	52	19,000	7,540	1,070	6,030	430	7,470	0	60	200	11,300	197.9	92.3	95.5		
23 愛知	306	210	40,900	13,400	3,310	8,810	1,230	13,300	30	40	2,220	25,400	133.7	97.5	96.7		
24 三重	134	23	30,500	27,000	1,430	24,700	820	27,000	-	0	130	3,410	227.6	97.1	97.1		
25 滋賀	82	20	22,300	19,100	2,100	16,600	430	19,100	-	10	120	3,080	272.0	101.2	101.4		
26 京都	61	9	5,070	4,660	660	3,560	440	4,640	-	20	30	380	83.1	95.3	95.8		
27 大阪	9	2	760	590	80	510	-	580	10	-	10	160	84.4	100.0	97.4		
28 兵庫	976	46	57,200	49,200	18,000	23,000	8,210	49,100	80	10	230	7,780	58.6	94.8	97.9		
29 奈良	37	20	3,560	2,980	400	2,270	310	2,960	20	0	20	560	96.2	102.8	106.3		
30 和歌山	42	12	2,680	2,450	690	1,440	330	2,450	-	-	10	230	63.8	95.5	93.4		
31 鳥取	219	48	21,500	13,300	4,690	7,020	1,630	13,300	10	20	2,790	5,390	98.2	96.5	100.5		
32 島根	591	40	31,600	25,000	9,140	11,300	4,600	25,000	10	0	260	6,280	53.5	90.8	97.5		
33 岡山	338	79	33,800	16,200	5,240	8,270	2,670	16,100	40	10	1,300	16,300	100.0	93.1	95.2		
34 広島	366	38	26,300	14,300	4,340	7,290	2,640	14,300	0	0	350	11,700	71.9	89.9	94.9		
35 山口	297	27	13,800	10,400	3,840	4,690	1,840	9,950	20	410	310	3,070	46.5	92.2	95.2		
36 徳島	157	66	21,900	10,500	2,390	7,070	1,020	10,500	10	10	380	11,000	139.5	97.5	95.6		
37 香川	139	58	21,200	9,150	1,680	6,600	870	9,150	-	-	80	12,000	152.5	93.3	96.4		
38 愛媛	128	36	9,540	5,930	1,600	3,570	760	5,860	50	20	720	2,900	74.5	96.2	96.3		
39 高知	106	15	6,050	5,110	1,940	2,840	530	2,720	2,390	0	40	910	57.1	95.5	94.7		
40 福岡	157	48	22,700	14,900	2,780	11,500	670	14,900	-	10	1,310	6,500	144.6	96.9	97.8		
41 佐賀	478	24	50,800	49,400	9,640	35,200	4,550	49,300	-	10	40	1,390	106.3	94.1	97.3		
42 長崎	1,830	73	91,100	76,800	29,500	25,900	21,500	76,300	370	130	530	13,700	49.8	92.4	97.4		
43 熊本	1,900	229	133,200	111,100	43,200	41,700	26,300	94,100	16,900	130	1,480	20,600	70.1	94.1	99.4		
44 大分	897	75	49,800	40,700	17,200	14,200	9,270	40,600	110	10	1,610	7,470	55.5	93.0	91.5		
45 宮崎	4,000	155	248,400	220,600	80,900	83,900	55,900	220,600	30	20	2,140	25,600	62.1	91.1	96.2		
46 鹿児島	5,530	135	360,400	349,900	120,800	156,400	72,700	348,900	60	950	440	10,000	65.2	92.5	99.4		
47 沖縄	2,060	71	75,300	74,600	41,500	6,950	26,200	73,500	10	1,080	80	710	36.6	98.1	95.3		
全 国	34,000	3,860	2,595,000	1,851,000	611,400	833,600	406,200	1,818,000	23,100	10,600	184,400	559,400	76.3	93.2	97.1		

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※表中の「0」は、1〜4頭を四捨五入したものである(例:4頭→0頭)

※統計表の記号「-」は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

## (3) 豚の飼養戸数・頭数(令和6年2月1日)

単位(戸数:戸、頭数:頭、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	子取り用めす豚のいる戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり飼養頭数	対前年比	
				計	子取り用めす豚	種おす豚	肥 育 豚	そ の 他		飼養戸数	飼養頭数
1	北海道	186	163	752,200	66,200	1,880	625,400	58,700	4,044.1	97.4	99.0
2	青森	48	34	334,800	23,400	430	297,600	13,400	6,975.0	92.3	94.0
3	岩手	83	65	459,100	43,500	1,460	385,600	28,500	5,531.3	97.6	96.9
4	宮城	88	69	180,000	18,100	740	146,600	14,500	2,045.5	93.6	99.8
5	秋田	67	54	308,500	29,200	520	238,200	40,600	4,604.5	104.7	114.2
6	山形	54	40	159,900	13,200	290	135,600	10,900	2,961.1	81.8	94.3
7	福島	49	39	111,600	9,130	290	80,900	21,200	2,277.6	94.2	90.2
8	茨城	208	156	424,000	34,700	1,780	385,200	2,320	2,038.5	92.0	92.5
9	栃木	82	69	324,900	26,400	680	290,700	7,140	3,962.2	92.1	108.4
10	群馬	163	137	610,800	51,300	1,550	544,700	13,300	3,747.2	94.8	102.9
11	埼玉	57	48	75,600	5,470	300	67,600	2,250	1,326.3	91.9	91.6
12	千葉	216	147	580,700	46,500	1,130	527,400	5,680	2,688.4	96.9	98.7
13	東京	10	5	2,030	110	30	1,540	350	203.0	125.0	108.0
14	神奈川	41	32	67,200	5,720	280	60,600	630	1,639.0	102.5	104.0
15	新潟	71	59	133,400	12,200	470	107,900	12,800	1,878.9	87.7	84.5
16	富山	12	7	19,700	1,380	110	14,000	4,170	1,641.7	92.3	83.8
17	石川	11	10	15,800	1,620	80	13,000	1,180	1,436.4	100.0	88.8
18	福井	3	2	2,390	x	0	2,190	-	796.7	100.0	139.8
19	山梨	14	9	11,000	970	90	9,610	320	785.7	93.3	106.8
20	長野	46	32	53,000	5,270	210	43,700	3,850	1,152.2	93.9	98.7
21	岐阜	26	18	91,300	6,010	140	84,400	760	3,511.5	92.9	93.1
22	静岡	69	57	97,100	10,100	770	75,200	11,000	1,407.2	95.8	107.2
23	愛知	138	117	287,400	25,600	1,160	258,900	1,730	2,082.6	100.0	93.1
24	三重	40	33	98,900	6,580	190	88,300	3,800	2,472.5	93.0	110.5
25	滋賀	3	-	1,480	-	-	1,480	-	493.3	100.0	113.0
26	京都	9	6	12,600	980	60	11,000	590	1,400.0	128.6	100.0
27	大阪	5	2	2,030	x	10	1,910	-	406.0	100.0	98.5
28	兵庫	16	11	20,000	550	20	16,700	2,730	1,250.0	84.2	97.1
29	奈良	7	6	3,190	250	20	2,920	0	455.7	87.5	89.4
30	和歌山	5	4	1,140	110	10	1,020	-	228.0	83.3	78.1
31	鳥取	14	13	61,800	5,570	90	49,900	6,230	4,414.3	93.3	100.5
32	島根	5	5	39,200	3,690	80	35,500	-	7,840.0	100.0	105.7
33	岡山	19	12	45,600	3,930	270	41,300	160	2,400.0	100.0	109.6
34	広島	24	17	147,600	11,200	180	124,600	11,600	6,150.0	100.0	97.6
35	山口	6	5	32,100	2,480	130	27,000	2,500	5,350.0	85.7	96.1
36	徳島	18	16	45,300	3,660	130	38,400	3,130	2,516.7	100.0	97.0
37	香川	20	15	27,900	2,140	140	21,400	4,210	1,395.0	100.0	88.9
38	愛媛	67	49	196,500	17,000	460	156,200	22,900	2,932.8	100.0	99.3
39	高知	15	12	21,900	2,090	80	19,500	240	1,460.0	100.0	87.3
40	福岡	39	22	79,800	7,640	140	64,300	7,670	2,046.2	100.0	101.3
41	佐賀	28	25	69,500	6,100	220	61,500	1,760	2,482.1	90.3	81.4
42	長崎	67	58	181,200	15,500	460	153,700	11,500	2,704.5	91.8	93.1
43	熊本	126	98	347,900	28,600	1,060	293,100	25,100	2,761.1	88.1	102.9
44	大分	37	27	153,200	13,500	410	136,600	2,720	4,140.5	92.5	102.3
45	宮崎	261	170	721,900	62,400	1,650	607,000	50,900	2,765.9	88.5	88.2
46	鹿児島	387	290	1,200,000	112,300	3,690	856,200	227,900	3,100.8	87.4	104.1
47	沖縄	174	125	184,500	15,800	890	155,500	12,200	1,060.3	89.2	94.2
	全 国	3,130	2,390	8,798,000	758,300	24,800	7,362,000	653,100	2,810.9	92.9	98.2

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※統計表の記号[-]は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。  
ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

## (4) 採卵鶏の飼養戸数・羽数(千羽)(令和6年2月1日)

単位(戸数:戸、羽数:千羽、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	飼養羽数					1戸当たり 成鶏めす 飼養羽数 (採卵鶏)	対前年比	
			計	採卵鶏(種鶏を除く)			種鶏		飼養戸数 (採卵鶏)	成鶏めす羽 数(6か月 以上)
				計	ひ な (6か月未満)	成 鶏 め す (6か月以上)				
1	北海道	56	5,692	5,670	1,146	4,524	22	80.8	107.7	86.0
2	青森	24	6,540	6,540	1,638	4,902	-	204.3	104.3	134.9
3	岩手	23	5,097	4,991	1,412	3,579	106	188.4	100.0	98.6
4	宮城	33	3,964	3,964	529	3,435	-	104.1	97.1	109.0
5	秋田	15	2,374	2,374	275	2,099	-	139.9	107.1	99.2
6	山形	13	427	427	52	375	-	28.8	130.0	102.5
7	福島	37	5,220	5,220	1,895	3,325	-	89.9	92.5	88.7
8	茨城	83	12,310	12,109	1,887	10,222	201	131.1	89.7	105.0
9	栃木	43	6,177	6,177	969	5,208	-	121.1	102.4	101.9
10	群馬	46	9,765	9,602	3,310	6,292	163	136.8	88.5	116.0
11	埼玉	63	3,651	3,651	1,605	2,046	-	32.5	103.3	114.2
12	千葉	90	14,173	14,129	2,943	11,186	44	127.1	96.7	115.4
13	東京	15	69	66	11	55	3	3.9	116.7	83.3
14	神奈川	38	1,041	1,041	16	1,025	-	27.0	92.7	102.4
15	新潟	42	4,695	4,021	1,418	2,603	674	81.3	91.4	79.0
16	富山	14	719	719	107	612	-	43.7	93.3	86.6
17	石川	6	690	690	63	627	-	104.5	66.7	54.7
18	福井	12	740	740	2	738	-	61.5	100.0	102.2
19	山梨	17	505	505	62	443	-	26.1	77.3	97.1
20	長野	17	690	688	211	477	2	28.1	106.3	107.2
21	岐阜	57	5,831	5,428	886	4,542	403	108.1	97.7	109.7
22	静岡	47	4,794	4,691	906	3,785	103	88.0	104.9	85.6
23	愛知	113	8,109	8,037	1,419	6,618	72	60.7	100.9	104.3
24	三重	63	5,749	5,719	1,145	4,574	30	72.6	98.4	95.7
25	滋賀	15	242	242	17	225	-	15.0	107.1	107.7
26	京都	25	1,515	1,515	20	1,495	-	59.8	92.6	95.5
27	大阪	12	49	49	7	42	-	3.5	100.0	97.7
28	兵庫	44	5,677	5,654	733	4,921	23	114.4	100.0	89.9
29	奈良	23	284	284	20	264	-	11.5	100.0	93.6
30	和歌山	18	265	265	5	260	-	14.4	94.7	102.8
31	鳥取	8	242	242	12	230	-	28.8	114.3	167.9
32	島根	14	934	934	173	761	-	54.4	87.5	98.7
33	岡山	48	10,036	10,036	2,947	7,089	-	147.7	84.2	120.8
34	広島	41	9,260	9,208	3,075	6,133	52	153.3	102.6	111.9
35	山口	13	1,655	1,655	498	1,157	-	89.0	100.0	95.3
36	徳島	14	831	831	190	641	-	45.8	100.0	106.3
37	香川	36	5,059	5,037	1,316	3,721	22	103.4	83.7	84.6
38	愛媛	35	2,148	2,144	509	1,635	4	46.7	94.6	106.7
39	高知	10	275	272	26	246	3	27.3	75.0	93.5
40	福岡	55	2,874	2,852	436	2,416	22	44.7	90.0	77.2
41	佐賀	24	251	251	18	233	-	9.7	100.0	126.6
42	長崎	51	1,826	1,826	278	1,548	-	30.4	100.0	96.1
43	熊本	38	2,481	2,466	451	2,015	15	53.0	108.6	97.4
44	大分	15	914	912	46	866	2	57.7	107.1	106.7
45	宮崎	53	3,194	3,098	716	2,382	96	49.6	88.9	111.8
46	鹿児島	101	10,302	10,196	3,115	7,081	106	72.3	105.4	85.5
47	沖縄	35	1,440	1,431	355	1,076	9	31.6	91.9	99.0
	全 国	1,700	170,776	168,599	38,870	129,729	2,177	79.1	97.0	100.9

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※飼養戸数には成鶏めす1千羽未満の飼養者を含まない。

※統計表の記号[-]は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(5)ブロイラーの飼養戸数・羽数(千羽)(令和6年2月1日)

単位(戸数:戸、羽数:千羽、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	飼養羽数	1戸当たり 飼養羽数	対前回は	
					出荷羽数	飼養羽数
1	北海道	8	5,531	691.4	100.0	103.1
2	青森	59	7,639	129.5	98.3	110.6
3	岩手	301	23,604	78.4	102.0	113.7
4	宮城	37	1,990	53.8	97.4	96.1
5	秋田	-	-	nc	nc	nc
6	山形	13	542	41.7	100.0	90.8
7	福島	31	751	24.2	103.3	94.2
8	茨城	36	1,350	37.5	97.3	106.7
9	栃木	8	x	x	100.0	x
10	群馬	26	1,587	61.0	104.0	100.8
11	埼玉	1	x	x	100.0	x
12	千葉	24	1,935	80.6	96.0	104.1
13	東京都	-	-	nc	nc	nc
14	神奈川県	-	-	nc	nc	nc
15	新潟	10	1,201	120.1	100.0	95.8
16	富山	-	-	nc	nc	nc
17	石川	-	-	nc	nc	nc
18	福井	3	91	30.3	100.0	92.9
19	山梨	8	392	49.0	100.0	100.8
20	長野	18	696	38.7	94.7	103.6
21	岐阜	11	939	85.4	84.6	93.1
22	静岡	18	947	52.6	75.0	87.8
23	愛知	12	962	80.2	100.0	91.8
24	三重	8	662	82.8	100.0	105.4
25	滋賀	2	x	x	100.0	x
26	京都	11	535	48.6	110.0	112.6
27	大阪	-	-	nc	nc	nc
28	兵庫	32	2,412	75.4	76.2	108.5
29	奈良	1	x	x	50.0	x
30	和歌山	16	231	14.4	100.0	92.8
31	鳥取	11	3,151	286.5	100.0	97.8
32	島根	4	377	94.3	200.0	x
33	岡山	18	2,840	157.8	100.0	100.9
34	広島	8	647	80.9	114.3	x
35	山口	22	1,497	68.0	95.7	101.6
36	徳島	134	3,855	28.8	100.0	103.5
37	香川	30	2,119	70.6	100.0	96.4
38	愛媛	22	957	43.5	88.0	88.4
39	高知	9	397	44.1	112.5	94.7
40	福岡	30	1,168	38.9	81.1	98.6
41	佐賀	62	3,929	63.4	100.0	99.5
42	長崎	48	3,297	68.7	96.0	109.0
43	熊本	56	3,746	66.9	88.9	94.4
44	大分	42	1,782	42.4	84.0	72.8
45	宮崎	442	28,155	63.7	95.7	99.6
46	鹿児島	402	32,003	79.6	103.1	102.3
47	沖縄	15	624	41.6	107.1	99.4
	全国	2,050	144,859	70.7	97.6	102.4

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※統計表の記号「-」は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(6)ミツバチの飼養戸数・ほう群数及びはちみつ生産量

(令和7年1月1日、生産量は令和6年)

	都道府県	飼養戸数 (戸)	飼養群数 (群)	生産量 (kg)
1	北海道	104	2,240	356,397
2	青森	110	2,295	134,321
3	岩手	164	3,688	77,908
4	宮城	177	1,696	26,807
5	秋田	103	1,383	229,055
6	山形	153	4,970	20,500
7	福島	364	9,622	43,224
8	茨城	296	3,571	7,562
9	栃木	282	5,307	23,600
10	群馬	401	4,913	-
11	埼玉	386	7,854	35,373
12	千葉	494	13,711	18,424
13	東京都	224	1,670	23,353
14	神奈川県	369	2,197	14,143
15	新潟	170	1,453	29,319
16	富山	38	231	10,693
17	石川	93	526	8,126
18	福井	36	301	8,177
19	山梨	133	1,713	20,289
20	長野	569	16,992	218,813
21	岐阜	443	6,298	52,836
22	静岡	474	5,930	92,309
23	愛知	379	4,865	100,463
24	三重	198	4,631	20,426
25	滋賀	117	1,536	57,119
26	京都	247	1,545	18,406
27	大阪	133	1,706	-
28	兵庫	329	3,544	63,704
29	奈良	96	1,350	-
30	和歌山	311	10,329	115,896
31	鳥取	147	2,707	2,758
32	島根	261	1,837	21,982
33	岡山	409	5,951	26,896
34	広島	386	6,577	73,662
35	山口	346	3,424	-
36	徳島	279	2,698	48,000
37	香川	185	3,507	7,000
38	愛媛	304	5,514	85,215
39	高知	54	872	4,175
40	福岡	444	10,426	89,468
41	佐賀	154	3,207	18,236
42	長崎	317	6,471	37,783
43	熊本	270	13,698	244,170
44	大分	288	5,843	54,975
45	宮崎	218	4,838	24,673
46	鹿児島	351	12,911	28,355
47	沖縄	344	23,257	23,567
	全国	12,150	241,805	2,618,158

資料:県畜産課調べ

## 2. 家畜衛生

### 家畜伝染病(法定伝染病)発生状況(全国)

年次	口蹄疫	流行性脳炎	炭疽	ブルセラ病	結核病	ヨ一ネ病	ヒロプラズマ病	アナプラズマ病	馬伝染性貧血	豚熱	ニューカッスル病	家きんサルモネラ症	腐蝕病	伝達性海綿状脳症	高病原性鳥インフルエンザ
平成 17		4			1	483 (めんま山産)							83	8	10
18		6			1	608 (めんま山産)							70	10	1
19		3		1		435 (山産)		1					69	3	4
20		8		1		523 (山産)		1					64	1	
21		4		1	3	317 (めんま山産)							64	1	3
22 10(水牛1)		3		2	1	234 (めんま山産)			2		1	10	39	1	1
23						22 (めんま山産)							45	2	23
24		3				212 (めんま山産)							42		
25		4				295 (山産)							49		
26		6				326							57		4
27		2				329 (めんま山産)							59		
28		5				316 (山産)							43	7	7
29						574 (山産)							30	5	5
30						321 (めんま山産)				5			42		1
31		1				380 (めんま山産)				45			33		
令和 2						389 (めんま山産)		1		10			39		33
3						446 (山産)		1		15			33		25
4		1				519 (めんま山産)				8			26		88
5		2				71 (めんま山産)				4			16		32
6		2				525 (めんま山産)				5			9	2	22

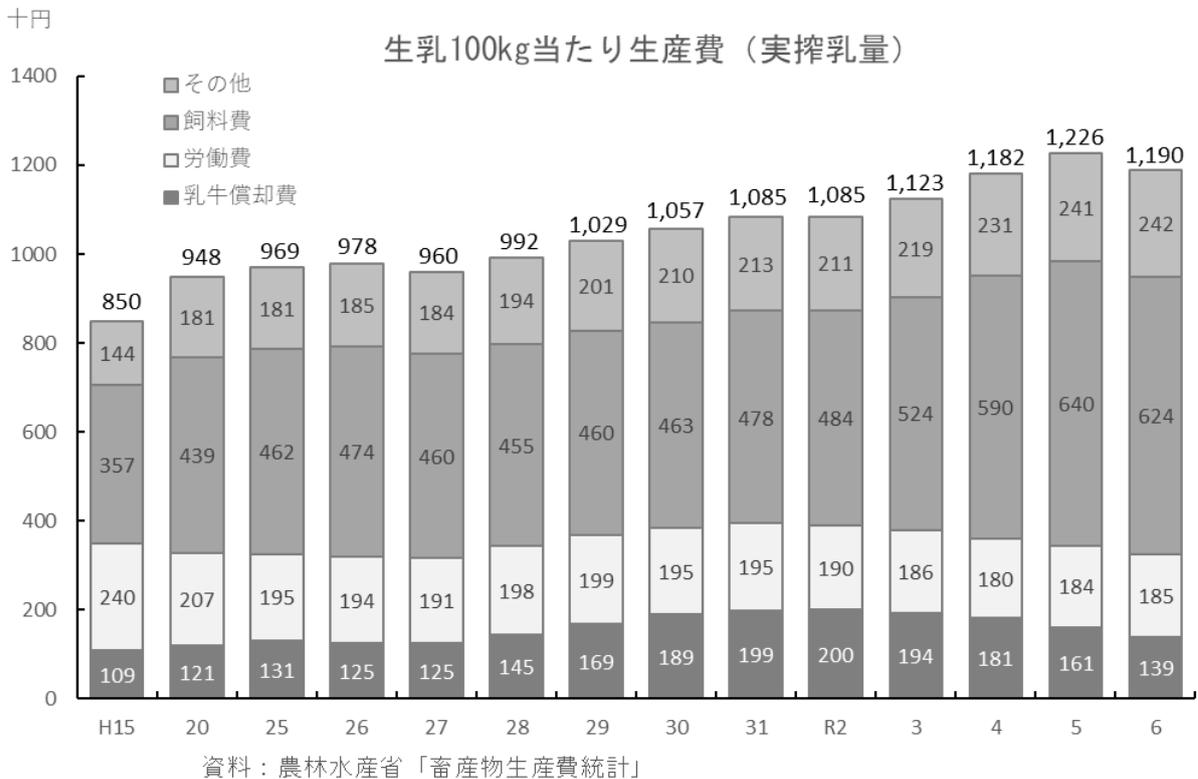
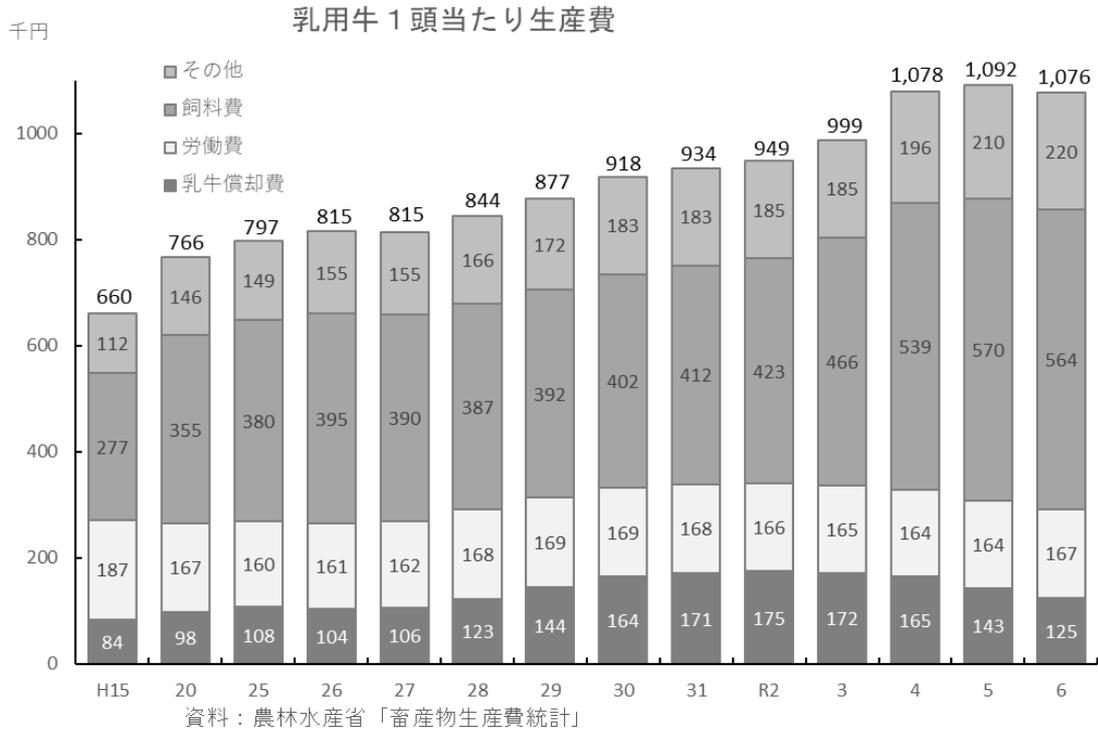
### 家畜伝染病(法定伝染病)発生状況(和歌山県)

年次	口蹄疫	流行性脳炎	炭疽	ブルセラ病	結核病	ヨ一ネ病	ヒロプラズマ病	アナプラズマ病	馬伝染性貧血	豚熱	ニューカッスル病	家きんサルモネラ症	腐蝕病	伝達性海綿状脳症	高病原性鳥インフルエンザ
平成 17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															1
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
令和 2															1
3										1					
4															1
5															1
6															(めんま山産)

※資料:農林水産省「監視伝染病発生年表」※毎年1月~12月の数値

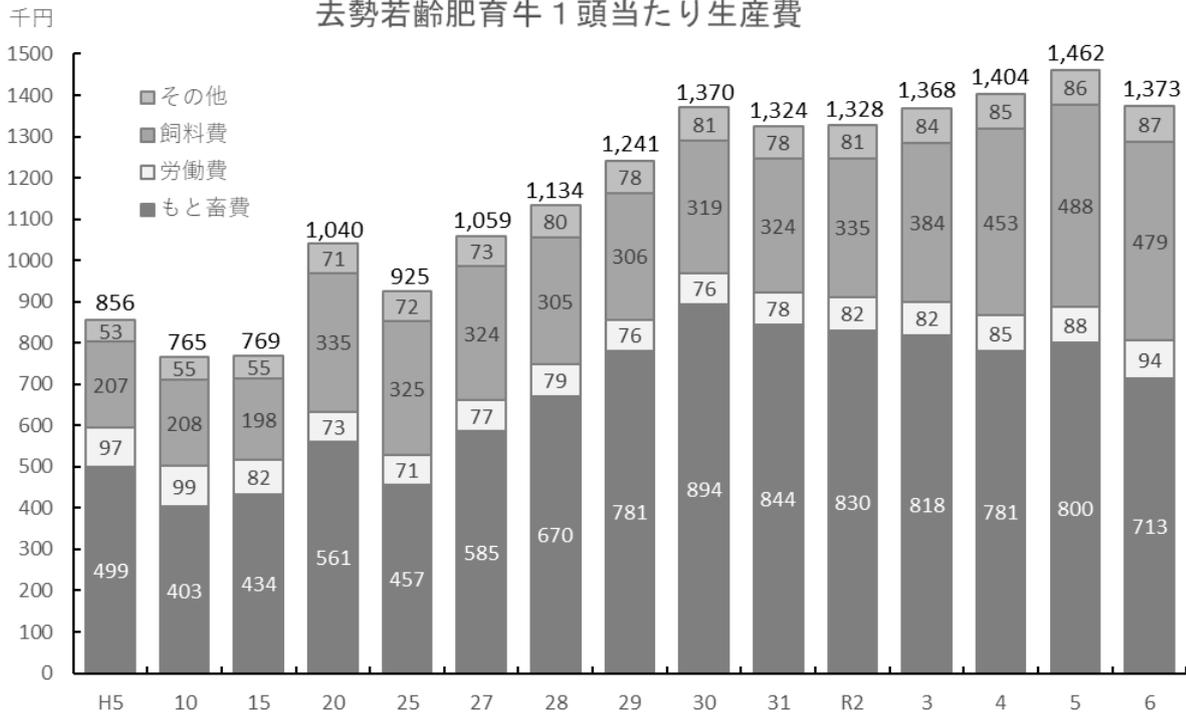
### 3. 畜産物生産費(全国)

#### (1) 乳用牛生産費

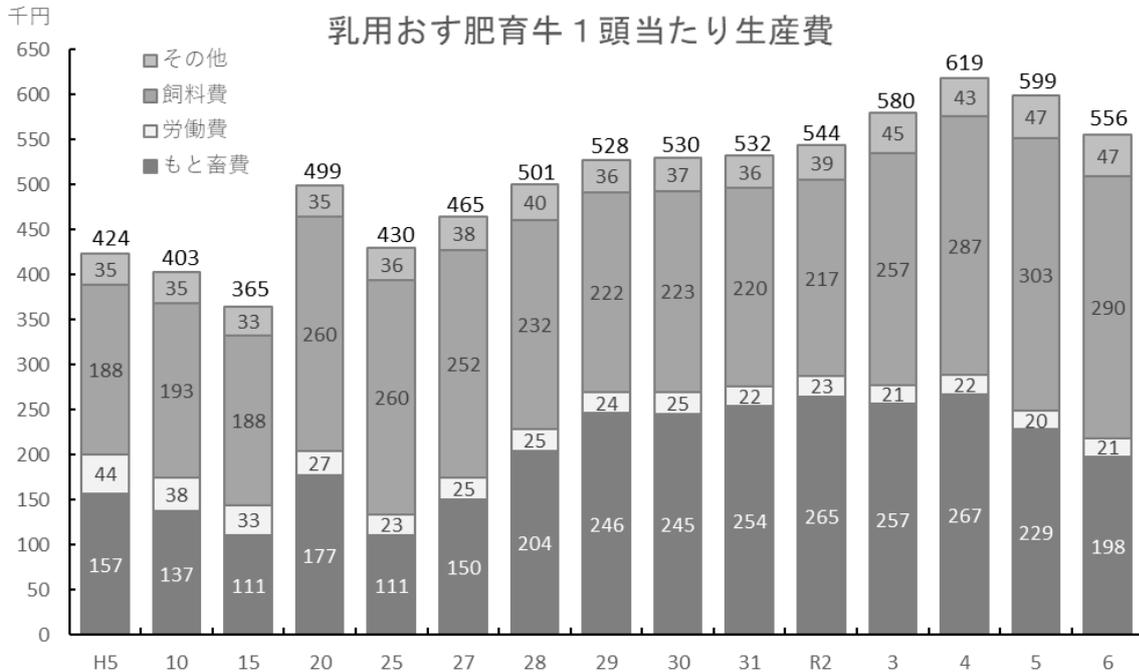


(2)肉用牛生産費

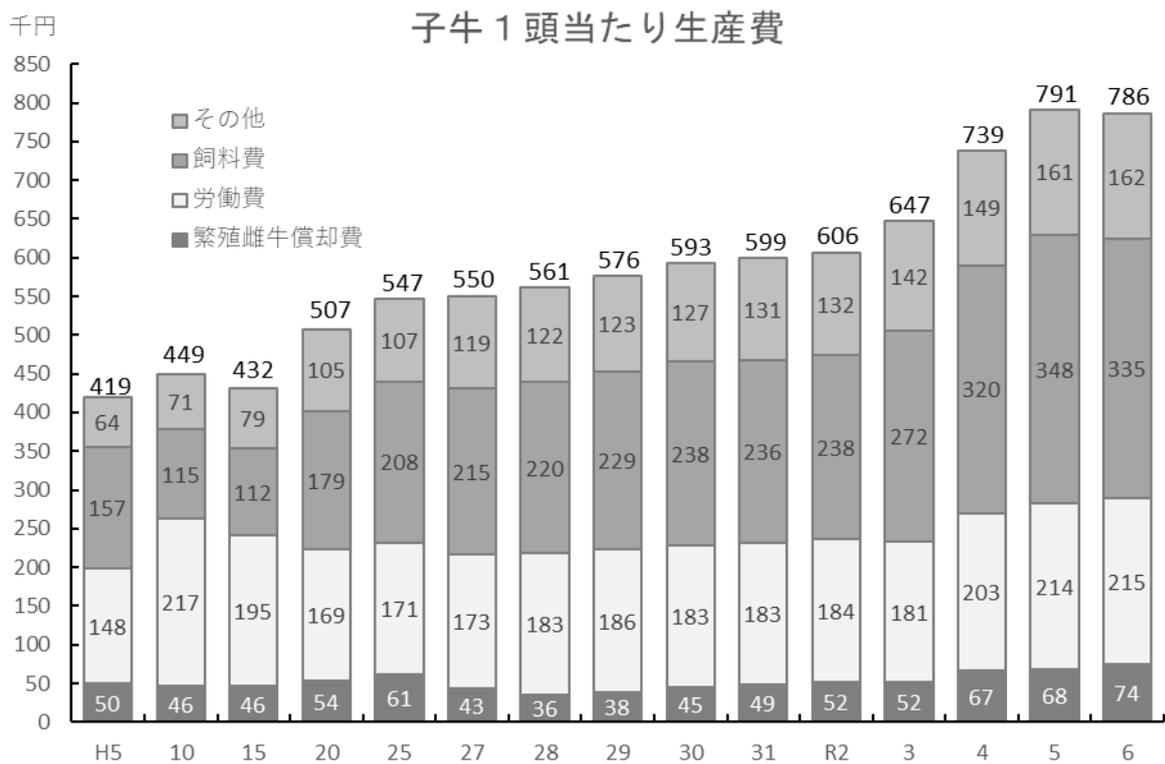
去勢若齢肥育牛 1頭当たり生産費



資料：農林水産省「畜産物生産費統計」

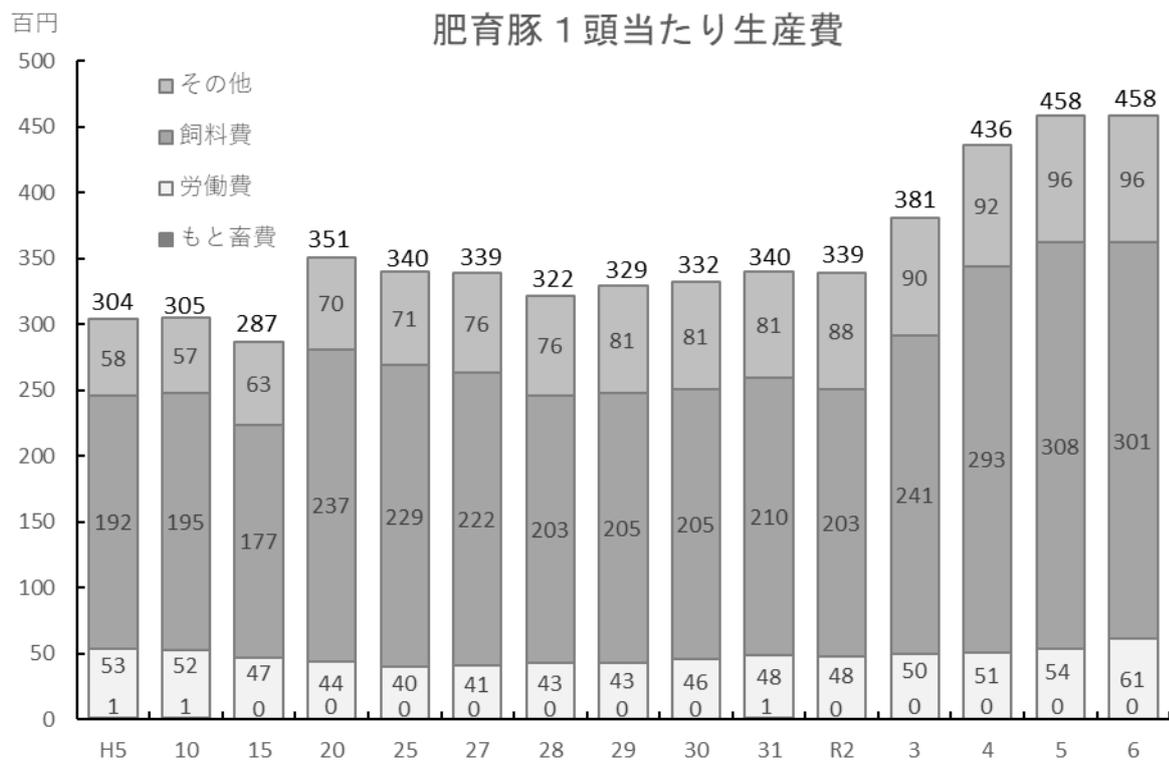


資料：農林水産省「畜産物生産費統計」



資料：農林水産省「畜産物生産費統計」

### (3) 豚生産費



資料：農林水産省「畜産物生産費統計」

## 4. 畜産環境

### (1) 家畜のふん尿処理の動向

県内の畜産経営体のうち、牛は10頭未満、豚は100頭未満、鶏は2,000羽未満を除いた73戸の家畜ふん尿処理の利用施設については、図表のとおりである。

図表 家畜ふん尿処理の利用施設(令和6年度)

畜産	区分	調査対象総数	主な処理施設別利用経営体数(延数)								
			堆肥舎	強制発酵施設	乾燥(天日・機械式)施設	貯留槽	液肥化施設	汚水浄化施設	簡易対応	その他(焼却施設含む)	
乳用牛		5	14	4	3	1	0	0	2	1	3
肉用牛		34	42	24	10	1	0	0	0	3	4
豚		3	4	2	1	0	0	0	0	1	0
採卵鶏		12	20	10	5	5	0	0	0	0	0
ブロイラー		18	19	12	0	0	0	0	0	2	5
計		72	99	52	19	7	0	0	2	7	12

資料: 県畜産課調べ(令和7年2月1日)

主な処理施設は、堆肥舎によるものが53戸と全体の54%を占めており、強制発酵施設19戸(19%)、その他(焼却施設含む)12戸(12%)、乾燥(天日・機械式)施設7戸(7%)、簡易対応6戸(6%)、汚染浄化施設2戸(2%)の順となっている。

畜種別に見ると、全畜種ともに堆肥舎が中心であるが、肉用牛の強制発酵施設や採卵鶏の乾燥(天日・機械式)施設による経営体も比較的多い。

### (2) 畜産環境保全に関する事業概要(令和6年度)

#### ア 家畜堆肥利用体制の構築

県内産家畜堆肥の流通円滑化を図るため、耕種農家と畜産農家のマッチングを行うとともに、堆肥散布実証展示会の開催、良質堆肥の生産技術指導等を実施している。

#### イ 家畜ふん尿処理施設・機械等整備推進

環境汚染の防止及び家畜ふん尿の適切な処理を目的とし、家畜ふん尿処理施設・機械等の整備を推進している。

#### ウ その他

畜産に起因する環境問題を未然防止するため、畜産農家に対する巡回及び指導を実施している。

## 5. 和歌山県の畜産物紹介

### (1) 熊野牛

熊野牛は、その名のとおり和歌山県南部「熊野地方」で昔(旧藩時代)から飼われていた和牛で、農耕用の貴重な労働力として活躍していました。

元々優秀な能力と由緒を持っている熊野牛は、選び抜かれた血統を取り入れた改良により和歌山県特産の黒毛和種として平成3年にブランド化されました。

現在、熊野牛の基準を、和歌山県内又は熊野牛認定委員会「以下委員会」が指定する牧場で、出荷月齢の半数以上飼育された24ヶ月齢以上の黒毛和種から生産された枝肉で、(公社)日本食肉格付協会による枝肉格付けがA3、B3以上のもの、もしくは委員会が委嘱した調査員により肉質等が確認され、委員会において適当と認められたものと規定しています。

熊野牛の肉質はきめ細かくて柔らかく、肉そのものの風味に優れています。主に県内及び近畿圏内で消費され、一部インターネット販売やホテルなどにより全国販売されています。



### (2) 紀州和華牛

赤身肉に対する消費者ニーズの高まりを受け、県畜産試験場では平成27年から29年にかけて、脂肪交雑を抑えた黒毛和牛の生産技術の研究を実施しました。

みかんジュースかすや醤油かすなどの県産副産物を活用した飼料を給与することで、ビタミン豊富で脂肪交雑を抑えた和牛肉の生産が可能となり、平成31年に「紀州和華牛」としてデビューしました。

紀州和華牛は、和歌山県内で肥育された黒毛和牛で、県産副産物を1割以上利用した飼料で、ビタミン制限を行わず飼育し、枝肉格付けがA2～4、B2～4のものとし、紀州和華牛協議会が認定を行っています。

紀州和華牛は、ロース芯の脂肪交雑が抑えられていることに加え、ビタミンE含量が約1.7倍増加することがわかっており、熊野牛とともに、和歌山県のブランド牛として、県内外で販売されています。



### (3) 紀州うめどり

紀州うめどりは、梅干しの製造段階で出る梅酢を活用して、品質の高い鶏肉ができないかという発想のもと、平成15年に生まれたブランドです。県養鶏研究所と県内梅加工業者との共同研究により開発された脱塩濃縮梅酢「紀州梅そだち」を飼料に添加して育った鶏で、内臓脂肪が減少、免疫力が向上します。

紀州うめどりは、保水力が高く、保存時に水分の流出が少ないことから、旨味がしっかりと鶏肉の中に閉じ込められ、パサつきにくい。また、梅酢の有効成分により、脂質の酸化が抑制されるため、一般的なブロイラーと比較し、鶏臭さが少ないのも特徴です。



### (4) 紀州うめたまご

紀州うめたまごは、紀州うめどり同様、「紀州梅そだち」を飼料に添加して飼育しています。お子さんや妊婦さんに大切な栄養素である、ビタミンの一種「葉酸」を一般的な卵より多く含むのが紀州うめたまごの特徴です。

優良県産品にも認定されており、ケーキ店などからの評判が良く、インターネットでも販売されています。



#### 紀州うめたまごの特徴

卵	葉酸含有量の増加
---	----------

※紀州梅そだちについて

開発当初は「脱塩濃縮梅酢 BX70」(梅 BX70)としていたが、「紀州梅そだち」と名称を変更。

### (5) 龍神コッコ

「龍神コッコ」は、田辺市龍神村で300年以上飼養されてきた日本鶏「龍神地鶏」と「ロードアイランドレッド」の交雑により、令和2年度に畜産試験場養鶏研究所が開発した新たな卵用地鶏です。

令和3年5月から、田辺市龍神村において飼養が始まり、卵が販売されています。



#### 卵の特徴

- ・サイズは一般卵と比べて小振りですが卵かけごはんにはピッタリ
- ・旨味成分(グルタミン酸)の含有量が一般卵より多い
- ・濃厚な味わいでコクがあり、後味も良い

## (6)イノブタ

イノブタは昭和43年にすさみ町長が畜産試験場へ雄イノシシの子どもを寄贈したことが始まりで、その雄イノシシと雌豚を交配させて昭和45年3月8日に初めて誕生しました。その後、昭和49年より公の機関としては全国に先駆けて農林省の総合助成を受け、イノブタの試験研究を始めました。イノブタは、デュロック種またはバークシャー種の雌ブタと雄イノシシを交配した一代雑種(F1)で、イノシシの旨みと豚肉の柔らかさを併せ持ち、産子も多くとれることからこの組み合わせがベストとされています。肥育期間はブタに比べ3~4ヶ月長く、脂身は甘くこくがあり、口の中でとろけるような滑らかさをもっています。また、肉色は赤みが濃く牛肉に似ているのが特徴です。

イノブタの主産地であるすさみ町では、イノシシとブタの良いところ(恵み)を取った肉という意味で「イブの恵み」と名付け、ブランド化がすすめられています。

なお、平成26年度から消費者の幅広いニーズに応えるため、雌豚(デュロック種)と雄イノブタ(雌豚バークシャー種×雄イノシシ)を交配したB1(戻し交配)イノブタの生産を開始し増頭に努めています。



イノブタ肉『イブの恵み』



『イノブタ』

## (7)ホロホロ鳥

アフリカ西部原産のキジ目の鳥で、大変美味とされフランスを中心としたヨーロッパでフランス料理やイタリア料理の食材用として多数飼育されています。

肉は赤みが濃く、肉質がしまっていて独特の風味、コクがありヘルシーであるのが特徴です。

本県では、日高川町(旧中津村)で飼育されています。



『ホロホロ鳥』

### (8) はちみつ

ミツバチが植物の花蜜を集め、巣に貯え、熟成した天然の甘味物質であるはちみつ。気候の温暖な和歌山は、ほう群数、蜂蜜生産量のいずれも全国有数の産地です。

和歌山県の特徴であるみかんの花を蜜源とするみかんはちみつや、日本在来種であるニホンミツバチのはちみつなども生産されています。

